京城日報

(年中無休刊)

本紙定價 一部金四錢 一ヶ月金八十五錢　廣告料 五號活字一行金一圓
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

十一月四日夕刊(朝夕刊併せて八頁)

批准寄託と最高會議

手續終了の報告後開議開會

去る三十日發せられたる條約批准寄託の電報は十一月二日頃迄に在巴里松井全權大使の手許に屆き居る筈なるが着後直に右電報を飜譯して同大使より佛國外務省に交付し茲に批准寄託の手續を了すべく同時に條約は愈々有効となるべきを以て右實施に關する條約の規定に依り五國最高會議開會し松井大使も是れに列席し差當りザール炭坑、ライン流域管理に關して實際上の意見を交換し其の結果を決定すべく尚ほ一兩日中に松井大使より手續終了の報告あり次第直に閣議を開くべく外交調査會は別に開かれざるやも知れず(東京電報)

國際勞働會議

議事打合=獨墺側加入決定=資格審査員議長選擧

國際勞働會議は十月二十九日全米會館に於て開會され三十餘國の代表委員出席日本側よりは政府側鎌田岡兩氏資本家側武藤氏勞働側桝本氏各委員全部出席したり當日は議事の順序に關して打合せを爲したるのみにて別段審議上の進行を認めず第二日即ち三十日は愈會議に移り獨逸及び墺太利兩國をも加入せしむるや否やに就き審議したるが其の結果獨逸墺太利も亦國際聯盟に加入することを豫期せられ居り且つ右兩國側に於ても國際勞働團體と協力せんことを言明せるを以て他の諸國と同樣の權利義務を以て勞働團體に加入せしむることを決議せるが是れに對し佛國資本家代表者フェーラ氏は反對の態度を執りしも他は全部贊成せり續いて資格審査委員として英國ブェルス、ブィール氏白耳義アーリエル氏和蘭のオンデクレス氏選定せられたるが芬蘭を加入せしむる件は延期不成立となれり次に第三日即ち三十一日は議長選擧期日なるが是れより先き一般は米國勞働長官をして議長たらしむることに異議なき旨米國政府に聲明し既に當初より長官を豫定せられ居たるが果して滿場一致を以て勞働長官ウイルソン氏當選せり尚ほ副議長には英國バーンス氏(政府側)白耳義カーニエル氏(資本家)佛國シューノー氏(勞働側)の三名當選書記長には英國バトラー氏を選定し滿場一致可決せり夫れより二十四名の銓衡委員(十二名政府側六名資本家側六名勞働側)を選定し同日の議事を終れり(東京電報)

桝本氏資格問題

友愛會より抗議

コンバース氏へ委囑か　勞働會議最初の注目

國際勞働會議に於ける最初の注目は第二回の會合に於て行はるべき各國勞働代表者の資格審査問題に集中せられんとしつゝあり米國勞働聯合組合長ゴムバース氏は既に日本勞働代表桝本卯平氏の資格に對する友愛會の抗議を接受し居れるもの〻如し抗議書はゴムバース氏に對して日本勞働者の爲め桝本氏の資格問題を會議に提出せんことを懇請し若し第一回の國際勞働會議にて斯る問題の存在を許したらんには是れ國際聯盟の精神に違背し國際勞働會議の組織を無價値ならしむるに至るべしと述べたるものならんと然れども日本官憲はゴムバース氏が既に友愛會の桝本氏に對する抗議書を落手せる事實を知らざるもの〻如くなるも政府代表副使岡實氏の面上には既に暗影あり是れ該抗議書にして正式に國際勞働會議に提出せらる〻に於ては茲に紛糾すべき新事件を惹起すべければなり尤も岡副使は同抗議書會議に提出せらる〻も三分の二の投票を得ることは困難なるべしと信じ居れりと(華盛頓電報)

獨艦引受は日佛か

十月三十日開會されし最高會議に於て決定せし協定に基づき獨逸軍艦の引渡しを受くべき國は聯合國中僅に佛國と日本のみなるべしと(巴里電報)

南滿興業準備

三菱三井等の內地大資本家首腦となり資本金一億萬圓の南滿興業會社設立計畫中なるが該創立準備の爲め關係者の重なる者二三名來奉創立事務所を設け目下準備中なり(奉天特電)

聖上行幸

伊勢大廟へ

聖上陛下には伊勢大廟に行幸平和克復を御親告あらせらるべしとは屢次傳へられたるところなるが愈々十二月十日行幸あらせらる〻事に御治定相成りしやに拜承す(東京電報)

砂防工事調査

諸戸博士談

四日朝釜山入港連絡船高麗丸にて上陸せる帝大教授林學博士諸戸北郎氏は往訪の記者に語つて曰く『今回の渡鮮は總督府の委囑に依り主として忠淸南北道其の他の砂防工事調査の爲めであるが之れより午前十一時發汽車にて大邱に立寄り二日間滯在更に各地の調査を爲したる上京城に向ふ豫定である京城の上は總督府と打合せを爲し調査の進捗を計る積りである何しろ漸く鮮地に足を踏入れた許りで何等語るべき材料もない朝鮮は日露役後二三回來たが其の時分と現在とは一變の觀がある專門家の立場から見たら以前は何れの山を見ても赤土の禿山ばかりであつたが夫れが青くなつた丈けでも相當苦心の跡が見はれる併し總ての施設は是からである私の意見では總體の上から朝鮮の風土に適した松を繁殖させるのが一番必要だらうと思ふ』云々(釜山特電)

日銀帳尻

十一月一日の日銀帳尻左の如し

發行高	一、一九九、〇〇四
限外發行	二六九、〇〇二
貸出高	四六三、三一九

(千圓)

發行高は前日に比し二百萬圓の減少にして貸出高前日に比し一千四百萬圓の增加なり(東京電報)

局部長會議

例定局部長會議は四日午前十時より總督府第一會議室に於て定例局部長會議を開き齋藤總督始め各部長並に所屬官署長參集諸般政務に就き審議する處ありたり

分掌局長會議

四日前日に引續き遞信局にて分掌郵便局長會議を開き日程により議事を進めたり

聯合會請願提出

第二回鮮滿商業會議所聯合會は其の決議に係る左記各項に關する請願建議を同會々長釘本藤次郞氏の名を以て四日當該關係各大臣、朝鮮總督、南滿鐵道會社長に宛て提出したり

南滿洲鐵道株式會社を奉天に移轉の件、輸入稅撤廢の件、日支共進會を開催の件、長距離電話急設の件、阪神及び支那間定期航路擴張の件、實業教育機關を充實の件、支那海關に於ける邦文併用の件、撫順炭特約販賣店を普及の件、上屋の設置並に擴張の件、朝鮮西海岸大連山東間定期航路開始の件

總督弔電と葬儀參列者

元帥寺內正毅伯三日午後零時十分薨去の旨其の筋に入電ありたるに對し齋藤總督は四日午前十時鄭重なる弔電を發したるが葬儀は七日午後一時自邸出棺芝山內增上寺に於て執行さるべく總督府よりは勅任總代として東上中の財務局長河內山樂三氏奏任總代として文書課長工藤壯平氏並に各道知事總代として內地人側は慶尚南道知事佐々木藤太郞氏朝鮮人側は忠淸北道知事張憲植氏參列すべく既に工藤課長は公務に[illegible]植氏次に[illegible]守總代として[illegible]四日朝往復約二週間の豫定を以て東上したるが爾餘の諸氏も四日中には夫々出發の筈なり

李王家貴族代表參列

前總督寺內伯薨去につき葬儀當日李王殿下の御代理として陸軍參將李垠武子を差遣の筈なりしも道中險疫等の爲め間に合はざる爲め王世子附事務官子爵高羲敬氏に命ぜられ李王職總代としては東上中の田中庶務課長參列する事となり又貴族總代としては同じく滯京中なる子爵宋秉畯氏を推選する事に決すべしと

商議聯合會と商務總會

過般京城に開會せる第二回鮮滿商業會議所聯合會は滿洲に於ける支那商務總會と提携するの必要を認め其目的を達成すべく四日同會長釘本藤次郞氏は奉天總商會副會長赤塚正助氏に宛て張東三省巡閲使並に一般支那側に通牒斡旋方を依賴したり

五州輕鐵增資と株式公募

小山庄三氏談

五州輕鐵に關する用務を帶び出張せる小山氏は語る

五州輕便鐵道は予ね發起人の一人として今回神戶に赴き本店に協議の結果急速にその創立計畫を進むる事となりたり然もその第一著として許可資本金六百萬圓を一千萬圓に增加する必要ありその方の手續きは直に之を了すべく株式は二十萬株中約十五萬株を鈴木系統にて引受け沿線有力者にも相當の數を割當つる豫定につき一般公募は未だ確言し難きも一萬株若くは一萬五千株見當となるべくその時期は十一月末若くは十二月上旬より遲れしめず年內に創立總會をも開催したき心組なり更に本鐵道の第一期線たる馬山郡北面松汀里陽間は既に精密の實測を終りたるにつき會社創立後は直ちに起工準備を急ぎ來春匆々竣工を着手の豫定にて四五月頃には第二次拂込を徵する事とならん

西海炭鑛計畫

下關市の有力者秋元淸助、茂木惣兵衛、片岡直輝、阿部幸之助、阪本一、澁澤義一其他十氏發起となり資本金七百萬圓の西海炭礦株式會社創立を計畫し來る七日東京鐵道協會にて發起人總會を開く由なるが右は伊萬里炭礦株式會社其他二三礦區の事業部を買收し尚將來附近礦區を買收すべく總株數十四萬株中既に十三萬株は發起人及び贊成人に於て引受け殘一萬株を近々公募すべしと因に伊萬里炭礦目下の出炭は一箇月八千噸內外なるも新社成立の曉は一日二三千噸の出炭額を見る豫定也と(門司支局)

英國を一巡して(四)

木村雄次

倫敦にて

勞働不安に就ては首相は現今の世界は砲彈病にかゝりて神經衰弱となりつゝ、ありされば國民は政府に對して不平を鳴らし、雇人は雇主に對して不平を鳴らし、下級勞働者は其の首領に對して不平を鳴らす、人生行く處として不平ならざるなし然れども時を經て神經衰弱の癒ゆるに至らばあらゆる不平は消ゆたるべしと樂觀し石炭坑國營案を採用せざるべしと斷言し每に[illegible]稅を勞働者の利益の爲めに使用し且つ勞働者の代表者と資本家と相協同して經營の衝に方るの具體案を提出すべしと述べ居り候が其の國營案を採用せざる主たる理由は、國營となさばストライキは根絶すべしと云ふにあるも過日のヨークシャの炭坑ストライキは明かに政府の處置に對する不滿より來るストライキなりしに見ても國營必ずしもストライキを根絶せずと云ふに有之候ヨークシャのストライキは首相の演說前數日即ち八月十四日全然勞働者側の敗北を以て終りを告げ申候坑夫も隨分惡戰苦鬪を續け候ものと相見え八月に入りては家族と共に炭坑附近の石炭を拾ひ集めて賣却し僅に糊口の資に供せしものも多數有之候由其後首相の言の如く勞働界の不安も著しく鎭靜に歸し多くストライキの聲を聞かざるは大慶に存入候然れども首相の演說に對する勞働者側の態度は依然國營案を主張し九月八日よりグラスゴーに開かれし勞働組合の大會に於ては政府にして國營案を實行せざれば適當の處置を採るべしとの決議を通過致候が此處に適當の處置とはスミリー氏の如き極端派は直ちにチエネラルストライキに依りて其の目的を達せんとする所謂ダイレクト、アクションを意味せしめんとするものに候得共溫和派は民選議會の方法あるに拘らずダイレクト、アクションを行ふは結局革命を行ふものなりとして反對し今や勞働者の中にも進んで勞働時間を增加して生產の增加を圖るべしとするものさへ有之マルクスの豫想したるが如く勞働者と資本家は常に對立するものに非ざるが如き新現象有之要するに勞働者社會も漸く二分せんとするに非ずやと被存候然れども多數の下級勞働者は矢張り極端派らしく抽象的の決議案としてダイレクト、アクションの可否を問ひしに二百五十八萬六千票對百九十七萬六千票の多數を以てダイレクト、アクションを是認致候固より此の決議に就てはトレードユニオンの委任狀にある投票もあり必ずしも各勞働者の意思を表明せずと主張する人も有之候へ共英國勞働問題の前途は依然として暗澹たるもの有之候

勞働黨の主領ヘンダーソン氏はウヰドネスの補缺選擧に於て現內閣派の候補者フィッシャーを九百八十七票の多數を以て打敗り目出度當選致候總選擧後今回にて七回の補缺選擧有之候內五回は政府黨の敗に歸し居候得ば英國政界の變動も或は遠きに非ざるべきかと推測せられ候

オ政府撤退說

=眞僞疑はし=

本紙オムスク電報は戰況不利の結果オムスク政府撤退に決せりと報じ來りしが其後何等の報なく又鮮銀にも全く右關係の電報來らず若しオ政府の此上事實なりとすれば同地には加藤大使松島總領事あり從つて既に關係方面に入報ある筈なるもその事なきより見るにオ政府の撤退は未だ切迫せる問題に非ざる如しと

財閥閑話

成南洪原(?)山郡の鴨綠江水電事業も東拓系によつて餘程進んで來たらしい▲北に向つて流れる鴨綠江の支流赴戰江を東に落つる南大川に長いトンネルを掘つて切り落し一千四百尺と云ふ落差をつけ四萬馬力を發る計畫だ▲恐らく一千尺以上の落差を有つた水電は東洋は勿論世界でも尠ひ稀れであらう▲此の事業は餘程有利有望らしく發起人の連中は全然虎の仔—にしては少し大き過ぎるが—のやうに大事がりその內容を話すのさへ惜しがつてゐる▲事業の有利以外此の大電力によつて助かる各事業の石炭消費減も中々大きいものである▲序でに此の水電は當初北鮮水電とする豫定だつたのがいつの間にか鴨綠江水電と改められてゐる▲鴨綠江と云へばすぐ新義州方面の事業のやうな氣がすることに鴨綠江支流の流れによつて發電するのは少しく名實が完しと云へぬやに思はるゝ▲然し一發起人は鴨綠江と云ふ名が世界的ですからなあ……それで附けたのですよと云つてゐた▲東拓の松平は今日でも上陸當時から海外興業の取締役や東拓を引きて大分多いが更に遠からず三つも四つもくつつくらしい▲どうせ子供も後から後に朝鮮に生まるのだらうがその頃には鳥渡動きのとれぬ位肩書が殖ゐるだらうと云つてゐる者もある

陸軍大更迭か

大演習後に發表

東京衛戍總督柴五郎大將の臺灣軍司令官親補は陸軍部內外の齊しく意外とする處なり即ち臺灣總督ならば知らず步兵二個聯隊と基隆膨湖島の要塞小砲兵一個中隊より有せざる臺灣の軍司令官に故參中將を以て司令官とせる朝鮮、關東、青島の各軍より下級の者を銓衡せる意果して那邊にあるや甚だ奇異の觀無き能はず即ち柴大將の軍司令官選任は聊か左遷の觀無きに非ざるも或は臺灣總督に文官たる田男の任命を見たる結果が均衡上柴大將を選びたるに外ならざるべし、蓋し田中陸相の意中は大庭第三師團長を以て軍司令官たらしむべき意圖ありたるもの〻如きも師團長以上の銓衡機關たる軍事參議官會議を去る三十日夕刻より開催せるに際し各元帥の意見傳達ありたる等に係き同日午後七時急遽直下して柴大將に變更決定を見たるものなりと傳へらる、即ち此間の消息を臆測するに或は是を以て陸軍將官大異動の前提とも見るべく即ち一戶井口大谷各大將は明春停年滿期となるべきを以て明石大將の薨去と共に**大將級特に**軍事參議官に多數の缺員を生ずべく文官閑使及び特別大演習指揮官命令にも支障を來し而も一朝有事に際し大將級の軍司令官たるべき資格を養成すべき爲めに近く島川、宇都宮、大井、由比各中將の昇進を見るべきは推測するに難からざるものあり之等將官中より軍事參議官を求むる時は其の經歷に於て寧ろ柴大將の軍司令官たるは適當なりと謂ひ得べし尚ほ從來大將級或は古參中將を以てせる衛戍總督は古參ならざる栗田中將の榮轉は**一面鼇數の**拔擢とも云ふものと謂はざるべからず即ち東京衛戍總督部は日露戰役當時の必要上設立せられたるものにて最早今日は無用の者として軍政改革第一著に對馬要塞司令と共に廢止せらるべき運命を有するものなるを以て或は同中將も運命を共にするものならずやと言うもの無きに非ず又從來の歷史に徵するに下關要塞司令官たりしものは悉く行詰まりたるに白水中將の如き再び師團長に任命せられたるは異數の榮轉たるを失はず同中將の爲に**慶賀の至り**と謂ふべし要するに今回の異動は軈て來るべき陸軍大異動の前提にして近く興味ある將官階級の變轉を見るに至るべし(東京支局)

鮮銀券日報

十一月一日現在左の如し

發行高	一二八、二三三、一一三
正貨準備	五八、三四九、四五八
保證準備	六九、八八三、六五五

人事消息

▲早川師團軍醫部長 六日朝發慶尚北道及東地方に出張
▲原田軍副官 軍司令官に隨行鎭海灣に出張中
▲朴泳孝侯一行七名 四日朝烏山へ
▲城津辯法院長 四日朝水原へ
▲中川常設理事 東上の途四日夜平壤著五日夜入城二泊の豫定
▲岡野榮之助氏(大每鐵道局長) 故寺內伯葬儀參列の爲め三日夜入城不知火へ
▲山本鎭氏(南浦大興會社技師長) 四日朝入城天眞樓へ
▲山岡國吉氏(鎭島新聞社長) 同上
▲平田友一氏(鎭海商銀支店長) 同上 上山本旅館へ
▲河合將三郎氏(鮮銀司事) 病氣の爲め向ふ滿一箇年休職となれり

懸賞川柳(廿三)

劍花坊先生選

美人(俳句)

永登浦　靄園子
美人草萌なく〳〵のいやな咳
『評』俳句とはちがつた味がある點に注意を要する。

龍山　雨ウン尺
奧樣の顏へ美人の例を引き
『評』諷言か、諷言か、どちらにしても變な句だ。皮肉な句だ。

つく〴〵と美人と添ふて[illegible]
『評』幸か、不幸か、これはハヅキリとわかつてゐる句だ。午憫皮肉な句とも云へる。

光化門　芦浪坊
美人茶屋名高き人は女好き
『評』英雄色を好む、言廻しは面白い。

男にもあるは八方美人なり
『評』人を食つたやうな句だ。

其の日其の日

◇一抹の黑雲湘南の天地を蔽ふて、寺內元帥終に起たず、哀愁に堪へざる也。伯や衛廬恪勤國事に盡す前後五十年、一意國家の發展、國威の宣揚を念として至誠を頓讓し、其功勞に至つては、一世の夙に認識せる所。寺秋內閣を辭して、湘南に靜養し、病勢一進一退して終に其計を聞く、痛惜せざらんや。伯の不起は國家の一大損失也。而も伯の忠誠と其功業とは、國家と共に永く青史の上に赫々たる光彩を放たん。伯の英靈亦冥するに足るものあらん、嗚呼。

◇オムスク軍は、西伯利戰線全部を擧げて退却しつゝありと傳へらる。後援を得て稍持ち直さんとせるオムスク政府の、退却續は、策戰の爲めか、將た又過激派の猛烈の爲か。茲暫時が面白き處也。まさか突ツかへ棒が丈夫になつたりとて、安心して虺吉垂れる程の柔弱にも非ざるべし。

◇米國大統領の懷中の匕首として、甚だ言行に世人の注視を集めたる、ハウス大佐の沈默は、何等かの意味を有せざるに非ざるか、米國上院の雄辯は左程恐るゝに足らねど、大佐の沈默には何だか凄味あり。沈默と云へば英國のチャーチル一派も亦沈默し、獨逸國民も近來啞の如し。何れも氣味惡さを感ぜざる能はず。前者には帝國主義の魂膽潜み、後者にはゲルマン復興の威力を藏す。雄辯か沈默か世界は漸くお喋舌の存在を敢て必要視せざるに至れり。更に駄辯に於てをや。雄辯は銀也、沈默は金也、とは西哲の言。然れども吾人は無意味にして無益なる卑怯の沈默は取らず。

▲頗る便利で經濟的な
新案 日附記入式 永代日記
▲思ひ付た其日から書けて
▲十年でも廿年でも書ける

▲新時代の日記 日々前日々の日記も書ければ五年でも十年でも一生の日記でも書け平凡な定り切つた事を書いたのでは何等の記錄にも參考にもならない。本日記は日件や感想の日記も書ければ過去の日記も書き得らる故に本日記は自己の歷史とも重要記錄ともなりて永久に保存出來得るが故に繁忙なる事務家は勿論何人も必ず備ふべき重要日記である尚ほ起つた時節に年月日を書き入れて記入し得る樣頗る便利經濟的に考案せられてある故本日記は●どんな筆不生の人でも●どんな忙しい人にでも書き得られる
▲附錄として●諸屆書式●知人名簿●吉凶早見表●納稅一覽表●家督目錄●金錢收支統計表●圖表其他必要事項を附し尚ほ餘頁には日記欄を設け卷頭には重要事項索引を附し他に便利經濟を主とせり
●四六判總布製紙質上等此際千部限り特價 特製一圓五十錢 上製一圓八十錢 代金引換にて急送す(前金注文なれば送料十錢)希望者は賣切れぬ內に注文次第
東京市青山南町六丁目四八 振替東京二七四七三番 有教社

時計 貴金屬 指輪 眼鏡商
地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目
浦天龍堂

月刊雜誌 經濟之實際
大相場研究號
◇十一月號要目◇
千圓で出來る不動產利殖法 經濟之實際社長 田中巖
拾壹月の株式界如何
大相場と東株
大相場は展開するや否や!! 都新聞記者『マル矛生』
大相場の前途と鐘紡
玄人の大觀 人相場觀
郵船株の實質と將來
新聞記者の大相場觀 此記事は本誌の獨占的記事好評を受く
株式相場と日蓮主義
◆拙老の大相場觀◆公債で利殖する法◆建株利廻表
日淸日露 戰後大相場經路
近況と株價 ▲東洋紡績▲日淸紡績▲鹽水港糖▲帝國製糖▲九州炭礦▲上毛モス▲久原鑛業▲東洋拓殖▲揖斐川電▲富士製紙
定價 一部金十六錢 半年分九十錢 一年分一圓六十錢(每月一日發行)
東京市神田區萬世橋際 經濟之實際社 振替東京四五二二番
當る當ると評判の內報 本社內報が如何に好成績を納めつゝあるかは去る十月十八日の中外商業新報紙上に公開せる成績の實證に照せ 今や株式界最大の評判高き本社內報を即刻申込め
▲本誌前號々賣切れ再版出來!

本場 みかん 明太の子
產地特約 大販賣
果物 青物 海產物 雜穀 貿易問屋
明太、鰈、鹽鯖、其他海產物 みかんは本場の本場物品ト同一視スル勿レ
京城南米倉町市場 振替京城一〇〇六 電話八四二番
岩城商會
紀州柑橘紀柑園組合 備柑販賣部

京城義州通一丁目
小野專門分工場 電話二四〇二番
▲弊工場製品は品質本位として價格も亦最も低廉なり

日本海上保險株式會社
第貳拾壹回決算報告
貸借對照表

貸方

科目	金額
株金	10,000,000.000
法定積立金	四五〇,〇〇〇.〇〇〇
別途積立金	1,330,000.000
假受金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
未拂再保險料	[illegible]
海上責任準備金	1,910,000.000
運送責任準備金	80,000.000
火災責任準備金	10,000,000.000
海上支拂備金	[illegible]
運送支拂備金	[illegible]
利益金	[illegible]
計	[illegible]

借方

科目	金額
未拂込株金	七,五〇〇,〇〇〇.〇〇〇
有價證券	[illegible]
貸付金	[illegible]
定期預金	[illegible]
當座預金	[illegible]
郵便振替貯金	[illegible]
地所家屋	[illegible]
備品	[illegible]
代理店	[illegible]
倫敦代理店勘定	[illegible]
未收保險料	[illegible]
未回收金	[illegible]
共同海損	[illegible]
假拂金	[illegible]
未決算勘定	[illegible]
新築勘定	[illegible]
現金	[illegible]
計	[illegible]

利益金處分

當期益金 [illegible] 之ヲ處分スルコト左ノ如シ

法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
役員及社員賞與金	一三一,一〇三.〇〇〇
株主配當金(年參割)	[illegible]
次年度繰越金	[illegible]

右之通相違無之候也

大正八年十月十八日

日本海上保險株式會社

取締役社長 右近權左衛門
常務取締役 右近和作
常務取締役 右近福次郎
取締役 近藤喜祿
取締役 八木千之助
監査役 中村三之亟

會社帳簿及財產ヲ調査シ前記之通相違無之ト相認候也

大正八年十月十八日

故寺内伯の面影

一旦薨去の報を傳へて内外を擧げて慟哭の淵に沈ましめ更に蘇生を傳へて衆人に悦喜の眉を開かしめし寺内伯も、天途に永く帶を措さず三日午前より危篤の容態に陥り家人に護られ永別の葡萄酒を口に含みつゝ正午終に湘南の客舍に溘焉こして薨去しぬ知るも知らぬも哀悼の念更に一層切なる者あり況んや還の巨人を第一世總督に戴きし朝鮮に於ては追慕の情いこ更に深きものあり、哀しい哉。

朝鮮の土と化さん
是が伯の望みであつた
伯爵 李完用氏談

私は明治四十三年寺内伯が韓國統監こして來られた時に始めて伯こ相知つたのであるから其交遊も頗分長いものである伯の性格を一口に云へば始終至誠奉公を以て一貫した人である伯が

日韓併合の 大業を全うされた事は普く人の知るここ ろであるが更に總督こして朝鮮の統治に力を盡された爲め八道の山河は忽ち其面目を一新した此の點のみでも寺内伯の功績は甚だ大なるものである。大正六年長谷川總督に綬を讓られた後私は東京で寺内伯の宴會に招かれ伯こ親しく相語つた事があるが其折伯は『朝鮮は自分の

第二の故郷 で生涯忘れる事が出來ない若し他日自分が政局から遠ざかる事が出來たら必ず朝鮮に歸臥し必ず枯骨を朝鮮の土地に埋める』こ云はれたのは單に座興のみでなく恐らく伯の眞實の告白であつたらうで若し伯が内閣總理大臣を辭されてから萬一健康體であられたら必ず朝鮮に來られ朝鮮を指導せられたに違ひないこ思ふ今春

王世子殿下 の御婚儀で東上した折は何しろ僅々一泊こ云ふ短い東京滯在だつたので伯に逢ふ機會もなかつたが今にして思ふこ大正六年宴會の席上で親しく伯に面語したのが最後の別れこなつた次第で今更感慨に堪へない、過般の騒擾の際にも伯は特に憂慮せられ夜病床にあつて

心痛を續け られてるたこ聞く、そして睨懇の人に向ひ『自分は今病床にあるが近來の朝鮮問題を耳にしては安閑こしては居られない親しく自分が渡鮮して一臂の力を盡し度い朝鮮千六百萬の人達の爲に乏しき身に床を蹴つて立ち上られたので醫者や家族達が驚いて止めたこ聞き聞く自分も話す人も共に

感激の涙を 止め兼ねた伯は斯まで至誠に富んだ人である、其伯を失つたのは國家多事の今日帝國の大きな不幸であるこ共に朝鮮に取つても亦非常な損失こ云はねばならない噫

伯の生家
熟柿一つ落ちて悲し矣
土地の古老の涙話

寺内伯を出した山口郊外宮野村を訪れて道往く童に『寺内伯のお家は？』こ聞けば『寺内大將さんのお家は此家！』こ敎へて異れた。寺内伯の生家こ云ふのは藁こ瓦で葺かれた見るから古色蒼然たる閑靜な一構へ黑門の傍から延び上がつた柿の實は赤く熟れて風もないのにポトリこ落ちるのも伯の薨去を悲しむかの如く想はれてそゞろ暗涙を催ふさしむ土地の古老に就いて伯の想ひ出を語つては異れまいかこ云へば『い、語りますこもあれ丈けの大人物を出した此の土地の磐ですもの』こて老の目を瞬きながら語る

寺内さんは山口藩士宇田正兵衛さんの次男で確か嘉永五年二月五日の事であつた、あの柿の木のある家で產聲を擧げ幼名を壽三郎こ名付けられ四人の兄弟があつたが皆死んで了ひ末弟の中島さんこ伯こ二人丈け殘つた壽三郎さんは生後程なく長藩山口留守居役寺内勘右衛門氏の養子こなり八歳で家督を相續した七歳から高橋直修こ云ふ宮司に就いて漢學を修めたが伴うしたものか忌憚者の上に非常な腕白で村の爺さん婆さん連に憎まれたものであるが十二歳の時から智恭がメキ〳〵こついて奇傑大樂源太郎を師として文武兩道を修め十四歳の時整武隊に入つて時の兵部太輔大村益次郎氏に拔擢され大阪の兵學寮に入學し明治四年優等で卒業した卒業後所謂佛學に興味を持つて研究されたこ云ふ事で是れからが出世の蔓が生じて來たのです』（八島特派員山口發電）

腕白小僧
伯の少年時代
手に負へぬ

山口郊外宮野村寺内伯邸鄰家の桑原秋成氏は語る『伯の幼時は頗るつきの腕白大將で農家が收穫した籾を乾燥して居るこ片ッ端からヒックリ返して行くこ云ふ始末で散々手枯摺拔いた揚句引捕へて灸を据てやるこ威嚇せば自家の柿の木へスル〳〵こ攀じ登り柿の實を投げつくるこ云ふ有樣で宛然猿の樣な子供であつたこ老人から聞いて居た又伯の邸外に伯が朝鮮總督時代景福宮の一部を持ち歸つて建設した家がある伯はそれを將來は圖書館にして寺内文庫こする筈であつたが夫が成らずして薨去せられたのは殘念な事である』（八島特派員山口發電）

庭球は女の遊技ぢや
部下を叱る
斷じてならぬこ

總督府の官吏連が一日コートに出て盛に庭球の練習をしてゐるこ偶々是を目擊した伯は見る目る眉を上げて『斯んな女のするやうな遊戯に憂身を窶してはならぬ……』こ叱つたものだ其時代の庭球は殆んごピンポムこ同程度であつた爲め雄々しい伯が叱咤したのも止むを得ないが夫以來總督府官吏でラケットを握るものが一時に無くなつた、是も今は一つの憶出こなつて了つた、

李王殿下 御哀悼
追つて御親電
國分李王職次官談

寺内伯の思ひ出は非常に多いが規矩準繩一點も難のない方だけに逸話こ云ふ程のものは思ひ出せない、唯總てに對して微に入り細を穿つこ云つた風に極めて細心で注意深い方であつたこ感心してゐます李王殿下には前から伯の病氣に就いて御心痛あり終に薨去の旨を申上げるこ非常に御哀悼の意を表され追つて御親電を發せらる、筈である

哀悼式
目下協議中

前總督寺内元帥薨去につき京城に於ては齋藤總督祭主こなり葬儀當日を以て哀悼式を擧行すべく目下協議中なるが場所時刻方法等決定次第發表せらるべしこ

割合に派手な一面
親の葬式は立派にせよこ仙波將軍を叱る

寺内伯の性行閲歷等は既に普く人の知る處今更繰返してお話しても只蛇足を加へるばかりだから私は伯に關聯した事實談の一二を語つて見ませう人も知る

陸軍三太郎 の一人仙波太郎將軍が親孝行だつたのは有名なもので將軍が淨瑠璃を語るのも皆母堂を

あゝした性格に不似合な程子煩惱歡ばせる爲めで將軍は年老つた母堂を慰める爲こならば歌も唄ひ淨瑠璃を語りまでして哀を拔き尚且つ足れりこせず

至孝の限り を盡されたが尉官から佐官に進み少將こなり中將こなつても濁る事がなかつたのには誰れ一人こして褒め稱へぬ者はありませんでした然るに其母堂も竊に逝世されたら……

心配を懸けては

ての遠慮からか母堂の逝去を何處へも知らせず密に一人葬儀を營んで終了後に初めて逝去並に葬儀終了の通知をしたのでした、是が之を聞かれた當時の陸軍大臣寺内伯は烈火の如く憤り早速仙波將軍に面會して言ふやう『親の葬儀は

飽く迄立派 に執行すべきが子たる者の義務であるが友誼をも無視して葬夜密に葬祭を爲すこは何事ぞ』こ激しく責めて注告したさうですが之なごは質實なやうで割合に派手な一面を有つて居られた例證です。又伯はあゝした性格に不似合に子供を愛し子供達もまた伯によく懐くのは

不思議に思 はれる程でした令孫に當る兒玉伯のお子達なごも能く伯に抱きついて絡はり離れなかつたものです。伯がキマリ惡さうな顏をしたのは識哥で藏原惟郭氏を藏原さんこ誤り呼んで反對黨に喰つてかゝられた時位でせう

大山公銅像 除幕式

三日盛大に擧行

參謀本部に建設せられたる故大山公銅像除幕式は三日午後二時より擧行に就き大山柏公を始め親族三十名來賓野田遞相、中橋文相、原首相代理及び陸海軍文武官等一千餘名列席し井口大將建設委員長こして建設に關する報告を爲したる後除幕を行ひ與元帥は發企人を代表して除幕式文を朗讀し大山公爵の挨拶あり三時過式を終了したり（東京電報）

泥棒多し
各戸でも注意せよ
龍山の警戒嚴

昨今龍山に竊盜出沒し被害者頻々たるを以て龍山警察署にては目下嚴重警戒し犯人逮捕に努めつゝ、あるが右に付き常司法主任は語る『最近龍山には盜難被害者多く署員は殆んご不眠不休で是が警戒に任じてゐるが各戸でも十分戸締りがおろそかであるこ兎角戸締りがおろそかになり取られてから戸締りを嚴重にしたつて今更追つ付かぬから每夜ぬ材の要心して寢る時には每夜戸締りを調べ出來る丈け嚴重にして置いて貰ひ度い夫れこ云ふのは家を明けぬ事である昨今小春日和の暖氣が續いて外出には好都合だものだから兎角家を明けて外出するものが多い空巣覘ひは是れ幸ひこ留守中に與つて目星しいものを攫拂つて去る盜人にも三分の理屈ありこ……

斷指決死隊掃蕩
七百の團員より成るこ稱し
國境方面を脅して居た
不逞鮮人の集團
警務局 白上高等課長談

先月の二十六日、我當局は國境に跳梁して居た斷指決死隊こ稱する不逞鮮人の群を檢擧した。此

斷指決死隊 は國境鮮人の安國縣を中心こして數百名より成る團體であつて總長を李俊こ云ひ、參謀總長は李揆哲、參謀長は李時雨こ朴毅夏こ云ふ其團員は七百名からの結束であつて決戰團、黄內吉等こ相呼應して事を擧げるこ云ふ噂なので當局も大いに同方面の

警戒を嚴重 にした。こころが先月の六日に至つて團員の一人である安國縣四方項私立第一國民學校長の李揆哲が寛甸縣に在る帝國領事館分館に自首して出た。そこで同人に就て取調ぶるに同人は『血戰肉彈愛國精神七百名同盟書及び同盟斷指決死隊趣意書』こ題する血書みを持參して居たので愈々決死隊なるものが存在して居るこ云ふこは明瞭こなつた。

同人の自白 に依れば

同人は元來儒生であるが黄龍起ミウヰスラーズで面會し貰はれ斷指決死隊の存在が優勢であるこを聞き頻りに入隊を勸誘され、其後金明汝及び李健述に面して決死の血印を捺した連判状なごを見せられて愈々入團を決心した。こころが決死隊に入つて見れば聞いたものこは大變な違ひで同隊の團員は天寶山の坑夫六十名其他四十名許りであつて

都合百名位 の團員に過ぎず、總長の李俊こ云ふのも虛構の人物であつて其團員の行動は全く盜賊に類似し武器こ云つても殆んご持合せがなく、戰に黄龍起が『大韓國民決死隊』の印こ總務部長の印を所持して居たに止まるのみで何等信頼するに足りないのみならず自分の不德の行動を愛ぢたので自首して出たのだこ自白して居る。然し乍ら之は單に李揆哲の自白に止まるので之を以て直ちに

眞か否かを 決するわけには行かないから當局では……つまり噂が大きかつた程に決死隊の存在なるものは優勢なものではなかつたこごが判明した。唯し乍ら當局は之れが爲めに非常に脅かされたのは事實である

電車で怪俄

二日午後七時十二分頃東大門發新龍山行電車八十五號が鍾路四丁目三番地先を進行中鍾路三丁目三番地……氏（二八）が電車の前を横切らんこするや運轉手は非常ブレーキを掛け停車したるが近距離の爲め同人は終に該電車の外部に觸れて倒れ前額及び右眉上部等數個所に擦過打撲傷を負ひたるより直ちに京城病院に擔込み應急手當を施したるが頗る重態なりこ

獨立運動の證據品

獨立運動の資金こ稱して私腹を肥やした惡僧白始月が朝鮮枕の中に匿して居た紙幣五百圓こ同人が使用した印章、中央にあるは不穩文を印刷したる謄寫版にして踏鐵工金相玉の證據品こして當局の押收したるもの

皇恩に感銘して
常に愛國文を讀誦す
奇特な平壤の老鮮人
『若し餘力が有れば愛國經を組織して君國の爲に盡さむ』

平壤府鏡齋里九十八番地尹秀洛氏は本年六十一歳の高齡なるが去る大正元年……その來歷を調査したる處同氏は……

李王家に ……

今上陛下 の御即位……

恩賜金を下賜せられた

拜賀式に參列したく

留置人三名 脱走を企つ

一名は終に脱走

感電して即死

京城電氣株式會社工夫金聲根（二）が二日午前七時五十分頃京城地方法院前電柱第二號に登り作業中同柱に裝置せる變壓器に……

巨魁を逮捕

給與上の不平から
巡査の盟休

ピストル強盜
知人を襲ふ

忠清北道陰城郡陰南面……の六撒鍾赫（二）が一日金浦郡沙……

神仙臺檢疫
去月末限廢止

本月の連絡船

本月中の關釜連絡船發着日割は左の如し

日	發船 午前二便	午後六便	午前五便	著船 午前一便
四日	博愛	壹岐	壹岐	新羅
五日	新羅			高麗
六日	高麗	對馬	對馬	博愛
七日	博愛			新羅
八日	新羅	壹岐	壹岐	高麗
九日	高麗			博愛
十日	博愛	對馬	對馬	新羅
十一日	新羅			高麗
十二日	高麗	壹岐	壹岐	博愛
十三日	博愛			新羅
十四日	新羅	對馬	對馬	高麗
十五日	高麗			博愛
十六日	博愛	壹岐	壹岐	新羅
十七日	新羅			高麗
十八日	高麗	博愛	博愛	對馬
十九日	對馬			新羅
二十日	新羅	壹岐	壹岐	高麗
廿一日	高麗			博愛
廿二日	博愛	對馬	對馬	新羅
廿三日	新羅			高麗
廿四日	高麗	壹岐	壹岐	博愛
廿五日	博愛			新羅
廿六日	新羅	對馬	對馬	高麗
廿七日	高麗			博愛
廿八日	博愛	壹岐	壹岐	新羅
廿九日	新羅			高麗
三十日	高麗	對馬	對馬	博愛

娼妓のドロン

京城新町貸座敷元祿事寺本米吉方抱へ娼妓香川縣生れ金岡する（二）及び長崎縣生れ西村なね（二）の兩名は數日前客の立ん坊に誘ひ巧に逃亡し行方を晦ましたるより樓主は大枚千數百圓の損害なり樓主は青くなつて各署に搜索願を提出し目下嚴探中

同情

元鍾路小學校訓導宮川島穀氏の遺族に同情し其後更に左の通寄贈方申し込み有たり
金壹圓 通義洞平野商店
金壹圓 宮原俊次

●記事取消 二日夕刊二面所載……

灯頃

東京では公設市場が出來たり公設食堂が出來たりする現に公設こいふ建詞を附して風呂錢が一錢こなり理髪賃が五錢こなつてる▲それに引換へて京城の湯錢は去月三十日から又七錢に値上をした▲然るに斯紙に對して極汗濁な永樂町の某湯屋では二十九日頃になつて急に四圓だの五圓だのこ湯札を買込みに來るので『これは屹度ドッカのお役所で增給でもあつたのだらう』こ思つてゐたらしい▲處が翌日になつて警察から湯錢値上認可の通知を齎したので昨日迄喜んで買つた湯札が急に惜しくなつたんだそうな▲斯樣心理狀態までが近來流行！

連絡船上陸客

十一名、中原安太郎、富澤奥一郎、三四郎、馬渡金、加藤秀子……

東京現株

仁川期米
四日後場（强硬）

貨車脱線

帖佐博士ノ推奬スル 改正胃活

胃病良藥 胃活

全國各藥店にて請賣す
東京市日本橋區本銀町二丁目 胃活ロート本舖 山田安民藥房
大阪市東區南久寶寺町二丁目 同 山田安民藥房

奥様の氣轉

朝鮮總督府遞信局購買組合指定店 京日代理部
釜山商店案內
角野商店 洋鐵鋼鐵道船舶其他工業諸器械附屬品商
石鹸界之覇王 スマートロン
青竹直輸入販賣 豊後石炭 海產物肥料商 萬左官用 荷受問屋 三谷商店
萬年ペン ウオタマン サンエス 岩瀬商店
卸問屋 確實 堅牢 小賣
糖粉、乾物、食料品、煙草、缶詰、雜貨 山西合名會社
島田糸店
酒精、燒酎、西貢米、碎米、砂糖、麥粉 福榮商會
洋酒・罐詰 糖粉・官煙 あづまや商店

第五版

小說以上の奇談
馬賊に捕はれてから
約半歲の憂艱難
（續）酒井親輔氏の遭難談

監視して居る者の方でも無聊の爲め脫走を企てゝはこの懸念よりなるべく退屈さ居睡りをさせまい爲面倒な種色々の話を仕掛け或時には全部寄り集まつて來て歌を唄ふやら芝居の眞似をするやら落語をやるやら色々の事で氣を紛らせ樣とする、中には人質の支那人が持つて居た支那一流の

猥褻掛つた小說
本を見付け出し夫を讀んで聞かせこ云ふから自分が例の通りに節を付て讀んでやると非常に面白がつて同じ本を幾遍も讀みさせるのには閉口した兎に角人質の身邊に付ては最も細かい處にまで注意して居る樣子である或日の事であつた此地方に出沒して居る七十名位より成る馬賊の部隊が十幾組か聯合して樣子の附近を襲ひ兵舍を燒拂ふて捕虜こ共に各自の巢窟へ引上たが

自分の居る部隊
も之れに參加して十六七位の子供三人を引連れて來た然し馬賊の方も三人負傷をして內一人は胸に盲貫銃創を受けて居る、頭目は此男を炕の上に仰臥さして小刀を取出して銃彈を拔き取りその儘へ繃帶をせうこしたから自分は其後へ黃色の藥を塗つてやれば宜いこ敎へてやるこ頭目は喜んで早速自ら懷ひ取つた藥の中のヨードホルムを持つて來て振りかけてやつたそして夫々本據へ引揚げたが其後の經過は頗る良いこの話しであつた、其の中に捕虜收容所の此小家に

食糧が缺乏する
監視の者の二三名が補充の爲め出掛けて行かねばならないが其時には討伐隊の襲來を免れる爲め他の知らない安全な場所へ一時移轉する其外何かの都合で監視者の人數の足りない時は何時も敵襲を防ぐ爲め此の小家を離れ其の歸りを待つのである、そして平常でも貯藏してある食糧品の多くは家の中には置いてない附近の森の中へ全く人の目に觸らない樣に

巧に隱蔽貯藏し
て居る、其れこ共に人質の者が一人でも歸つたなら直ちに收容所の場所を換決して同一の小家には居らないのである、暦の五月の節句が過ぎて暫らくするこ頭目が代つた、前の頭目山老局は銀二萬餘元の有金全部を引浚へ鞘囊へ入れて山東の郷里へ歸つて行つたこの事で、暫らくすれば又戾つて來るこは言ふて居たが到底再び來まいこは監視して居る仲間の噂であつた」今度の頭目は佐子と云ふ

女の樣に優しい
二十五六歲の美男子で部下の統御振りも至極溫和であつた爲め非常に評判が良かつた樣である此の頭目になつてから四人の中の二人だけが兎も角歸して貰ふ事こなり二日間賊に送られ三日目に深江へ歸つたが其れより曩に林公司の市村氏の盡力で部下百三十人を擁し此地方では最も勢力の強い長江好こ云ふ馬賊の頭目に談判を賴み其の結果佐子頭目の方も

大讓步して當初
の要求額に比し極めて僅少の捐で殘に殘つた自分こ地主の息君こが無事十月に入つた早々放還される事こなり前後百六十餘日間の苦しき人質生活も今は却つて思出での種こなり檻に等しき茅屋も道名殘りの惜まれて見

籠を放れし鳥
返りながらも
の如き心地して十四五人の者に二日間を送られ或地點まで達せり

新家庭漫畫（葉濱）

界隈切つての朝寢坊の君今日は日曜日こあつていやに早起きをして褞袍に啣へ楊子ご言ふいでたちで水道端に來て見るこ妻君は丸髷にエプロンかひ〴〵しく西洋盥を前に据ゐ込んで菜つ葉をしこたま詰め込んで居る「貴郎之れをすつかり漬けて終つたら家の臺所に持つて行て下さい」……朝寢坊君之れには驚いた「一體そんなに澤山漬物をして二人切りで食ひ切れるかそしてそんなものもつと後からでもいゝぢやないか」「いゝえ貴郎だつて菜漬私大好きなのよそれに急げつて諺がありますわそれから大は小を兼ねるつて事もあるわ」「ほゝおまへ日曜のせいか大變よく喋るね……」

流筏終了近し
鴨綠江採木公司の流筏は既に終筏に近づきたるが去る十月二十八日迄の到著數は五千三百十七臺にして猶は僅少の著筏は見るべきも差したる增加はなかるべし流筏は直營にかゝる直筏は約三百臺の到着を見るべしこ因に第二回內間の終筏式は去る卅日六道溝に於て執行せられたり（安東縣）

○憲兵に銀盃（抱川）京畿道抱川郡二東面楊界里憲兵駐在所長和田上等兵今回退職せしに付土地の有志は送別會を開き紀念銀盃を贈りたり因に抱川郡駐在所は今回巡查著任せり

海員養成所
海員志望者の習書の成績を終め私立當時より相當の成績を收め來りし遞信局海員養成所は別科生五十名に對し第二回の募集を爲せり入學期日は大正九年一月なるが詳細の事は十一月總督府報にあり別科生は航海科機關科の二科に別れ各十名宛を募集せるが入學志格者は尋常小學校卒業者に對しては普通學校卒業者に對しては體格檢查のみを行ひ卒業せざる者に對しては體格檢查に合格したる者に對して學術試驗を行ふ但募集人員の關係によりては更に選拔試驗を行ふ事あるべきは勿論なりこ云ふ卒業後は航海科

公主嶺に於ける列車轉覆詳報
去る二十九日午後十一時長春驛發南行列車が翌三十日午前一時五分公主嶺驛を發車し將に本線に入らんこする際轉轍手の怠慢により山錫線內に進入しストップ（車止）を突破轉覆し多數の死傷者を出したることは既電の如くなるが

即死者
は機關手たる鐵道火夫張子鮮其他支那人旅客二名にて重傷者は機關助手にて同驛雇傭伊田幸哉（三〇）及び前部車輛に便乘し居たる長春車輛係藤田外次郎（三五）大連車輛係峯善一（二）及び支那人旅客九名輕傷者は日本人一名支那人九名の旅客にて全部の死傷者二十六名なるが重傷者の日本人三名は瀕死の重態にて公主嶺滿鐵醫院に入院治療を受け輕傷者の多くは應急手當を受け南行したるが列車顚覆の眞相に就ては目下

調查中
にて確證に判明せざるも轉轍手たる河野才吉（二〇）及び岡村慶治郎（三〇）兩名の怠慢過失に依る事は爭はれざる事實にして亦當直助役たる相谷庄三郎及び信號手なる金子良吉も多大の責任ある模樣なり轉轍手たる岡村、河野の言に依れば河野は岡村より先發にして常に殘車を受持ち岡村は入替を擔當し居たるものにて當夜十一時三十分發の貨物列車の入替を終りポイントの本線引戾しをなさずして其儘詰所內に入り第六列車たる長春十一時發の列車が公主嶺驛に著する迄には猶約一時間の猶豫ありし處より其の間を利用して

寢入り
たるが列車の響に目を覺したる兩人は驚き詰所より屋外に飛出したる時は既に機關車はポイントを通過し詰所線に進入したるより岡村は大聲を上げて機關車を追ひ停止せしめんこする一刹那非常なる大音響こ共にストップを突破轉覆大慘劇を現ずるに至りしものなりこ云へり（未完）

開城神社大祭
開城にては來る八九兩日開城神社の大祭を盛大に執行す（開城）

未曾有の殷賑
永登浦に於る大祭節

永登浦市內は前日中に國旗、提灯、造花等を以てスッカリ裝飾せられたるによつて既に天長佳節の氣分漂ひ居たるが先づ▲公立普通學校並に公立尋常高等小學校に於て拜賀式あり▲午前十一時より小學校の校庭に於て煙火を合圖に內鮮人官民合同の祝賀會を催したるが郡守の發聲に和して陛下の萬歲を三唱し和氣靄々裏に正午十二時頃散會せり▲午後二時よりは普通學校々庭に於て鮮人有志の催しになる京城妓生の歌舞音曲あり內鮮人觀客校庭に溢れ之れ又盛況を呈したり▲內鮮人學生聯合の旗行列あり▲午後五時よりは料理店○亭の主婦酌婦を中心こして催されたる山車は多數の假裝者さ一列に囃し賑々しく市內を練り歩き▲點燈頃よりは長島鐵工場及び醬油釀造業會社催しの提灯行列等ありし上へ朝來打ち揚げ來りし煙火は夜に入りて一層景氣を添へ居住內鮮人一同何れも經驗なき浮々ましきばかりなる天長佳節の雰圍氣に浸りたる由▲又公立尋常高等小學校に於ける生徒の學藝會は概して好成績なりし由なるが中にも高等科一年生の談話「三重尼寺子夫人」は表情、態度並に細妙なる話振りには聽衆一同の頤を解かしめたる由

商況

株式

東京株式（至急電報）

銘柄	四日第一立會	前電比較
東株	三九〇、〇〇	三、九〇安
同新	三八六、〇〇	一七、〇〇安
滿鐵	一七一、〇〇	九、六〇安
一新	一六四、〇〇	……
二新	一四〇、〇〇	一〇、一〇安

大阪株式（至急電報）

銘柄	四日前場寄付	三日後引比較
大株	三六一、一〇	九、〇〇安
同新	三四八、一〇	一一、〇〇安
郵船	二三六、〇〇	三、〇〇安
同新	一三五、九〇	三、三〇安
商船	一四八、〇〇	一、六〇安
同新	一三一、一〇	三、九〇安
鐘紡	三七六、七〇	五、九〇安
同新	三五五、四〇	三、二〇安
東紡	二七五、〇〇	六、一〇安
東糖	一六〇、〇〇	三、〇〇安
常米	一七九、〇〇	同
上取	八九、三〇	一、〇〇高

京城現株（標準値段）

銘柄	拂込額	值段	▲印騰貴 △印下落
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝郵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
電興	[illegible]	[illegible]	[illegible]
皮革	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東畜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝紙	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿毛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝醬	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮土	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東拓	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東證	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁倉	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
南川	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安信	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高平均値

銘柄	平均値	出來高
鮮產銀行	九九、〇〇	一、六〇八
安東信託	三六、五〇	一、〇〇〇
東亞新	四四、八〇	一、〇〇〇
鮮鐵權利	五七、〇〇	[illegible]
商業銀行	五七、〇〇	二、五〇〇

東京氣迷深し
茲間に風說さるゝ處によれば英國歲券一億圓は現金償還を受くるとこなるやも知る可からず此の說にして若し實現するが如きこあらば歲末の金融市場は大に緩和せらるゝならん隨つて市場の買氣も大に刺戟せらるべしさて丸で鬼の首でも討ち取りたるかの如く狂喜して市場の買氣を煽り居たる者もありしが事實果して斯る風說の實現すべきかは尚疑問にして恐らくは英國の斷引的威嚇策に過ぎざるべしこは同國の國情に精通せる人々の觀測する處なり假りに又此の風說の實現することありこするも斯の如くして日英實業家側の感情を害するが如きは拭ふ可からざる禍根を貽すべければ政策上採らざる處なるべしこの觀察も却々勢力あり殊に海軍大擴張問題は大藏省この間に妥協點を見出し得たりこ傳へられつゝあるも而かも其の重要部分は捨てられざる模樣なれば少なくも新要求額一億數千萬圓を下たらざるべく延いて各方面に於ける增設計畫の如きも飽くまで遂行せらるべきものこ見ざる可からず何れの方面より見るも從來ありし來りたる材料のみを其の背景こしての樂觀は之れを強ひ難き事情にあり當業者が益々迷ひ深からんこするは無理からぬ次第なるべし

安信株賣物薄
安東信託は昨今の氣配を眺め眼先五十圓の目標に買進まれ既に四十一圓の取引行はれ居安東縣にて四十一圓

閑散薄商內
當地の氣配もこれを移し三十六圓五十錢の商內ありたる後四十四圓迄の買物あるも浮株少なきこ手持は先高を見越して賣惜み態度を採れより人氣の割りに商買手合せ多からざるが同株も五十四圓處が天井ならんこの情報もあれば無暗の賣惜みも考へ者ならんか

新義商事信託
新義州の有志は最近對岸安東縣に諸會社の新設增資さるゝもの多く國境の繁榮を奪はるゝを遺憾こし同地にても有力なる會社を設立して市の發展を計らざるべからずこ爲し先頭安東信託に對抗すべく資本金百萬圓を以て新義州商事信託株式會社を設置したる事は既報の如くなるが同社は同地特產品の大宗たる木材豆粕穀類の取引を初め其他不動產賣買仲介、有價證券賣買、金融等を營むものにして既に奉天大連、安東等より多數の株式申込みあり其の割當に困じ居れる由なるも此種商事會社の朝鮮に於いて許可されしものは同社を以て嚆矢こする關係上發起人中に有力者を網羅せる由にて其一部分は京城に割込んこする計畫あり尚當地には支社をも設くる由なれば當地にて資出さんか目前安東信託株の彼が如き好況の折柄人氣を呼ぶならんこ云ふ

東京諸株暴落
今朝第一立會は諸株一齊に安く殊に主力株は一二十圓方暴落せり（東京特電）

新義電氣增資
資本金六萬圓の新義州電氣株式會社は從來一般配電を繼續し來りたるが今回二十萬圓に增資し電力の供給を受け新義州城內へ送電する計畫あり既に其筋の許可を得て目下鴨綠江河底線及び義州線架設中の由なるが增資新株二千八百株中七百株を一般公募に附すべしこ

大阪竹原商店特約
東京山一合資會社特約
公債株式現物賣買
新田耕市商店
京城櫻井町一丁目
電一八八一・三九〇

大阪だより
幽靈のやうな暴利取締令適用說から今度は一轉して先物取引檢擧說を生むだ▲檢事局あたりで研究して居るのは實際らしいが▲之れを直ちに訴追の準備こ解釋するのは大早計こ云はねばならぬ▲今春の先物取引違法問題も農商務省から取引仕法の規準を示して居る限りは今更違法の問題の起り得る筈もない▲元來綿米布先物取引に對し取引所法違反を以て臨む以前に定期取引並に市場の意義を明白にして掛る必要がある▲何がなしに違法だ檢擧だ訴追だ物騷千萬な評判を立てられては▲當業の商人こそ一番迷惑で取引の安全を保つことが出來ない▲給生活者の內幕を聞いた或人は全く今時の月給取りは氣の毒なものだ▲高等教育を受けた女學校の先生が僅か三十五圓こ云ふのに▲そこへ行くこ紡績工場の女工の方は此頃到々で大したものだ女工の方は月給七十五圓位になるのが四十人ばかりも居る▲此串は可成り激烈だけれご小學校も出てゐない田舍娘でこだからね兩手の指には殘らず金指輪を光らしてゐるこいふ勢ひだご語つた▲その金指輪の行列をさせて喜んでゐるのが又女工らしくて可愛い

米況

東京期米特電
◉四日前場
當限寄付　四十二圓六十錢
中限寄付　四十二圓四十錢
寄付　四四、九〇
高値　……
安値　……
止め　……

大阪期米特電
◉四日前場
當限寄付　四十二圓四十九錢
中限寄付　四十二圓七十錢
日後場
四日前場
寄付　四五、五一
三節　……
安値　……
止メ　……

神戶期米特電
◉四日前場
寄付　四五、四〇
高値　……
安値　……
止め　……
日後場

下關期米特電
◉四日前場　……

仁川期米

	當限	中限	先限
寄付	……	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

四日前場（不勢跡高）
本朝大阪天候開く各地入電未著なるも前日阪地の崩落に人氣は益々軟弱に傾き當限は四十一圓四十五錢より九十錢ご崩れしが◎の買物に三圓臺を維持し止めは四十二圓九十錢……五錢より二錢こ締り先化されしも戾りは緩くして好く七十八錢を採合ひ五錢こ引けたり▲第三節……四十一錢より五十錢こ跳返し先は五十五錢……▲第四節……高の八錢こ締まり……小口の買物もあり……四十錢臺に引けたり……

目先底入乎
前日來當地正米氣配旺盛なりし處地の安移りこ手揃へ買りに賣物消化してヂリ安歩調こ轉せし折に小口の投げ物を喚起して四十……

丸仲買店
仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
電話長四〇四番・二一〇番
略號（ア）又ハ（カチ）

三日後場		四日前場	四日前場	公定相場
寄付　四一、七五	當限　一萬六千三百石	寄付　四二、四五	一節　四一、七六	一節　四二、四六
止値　四一、九九	中限　九萬三千八百石	止め　四二、七〇	二節　四一、七〇	二節　四二、四八
高値　四二、七九	先限　三十九萬八千石	高値　四二、七二	三節　四一、六五	三節　四二、四一
安値　四一、四四		安値　四一、四〇	四節　四一、五四	四節　四二、五五

本日出來高　卅九萬三千五百石

◇帳入值段
當限　……
中限　四十三圓十一錢
先限　四十二圓七十二錢

市場雜觀
如何に新穀期を云ひ爲しても米價の大勢が崩れぬ以上當局の羽搾や前頃に惚れて不制を貪つた丈軟派の不利こするも未だしく方こしても前退いたこ云ふ譯ではなし其上中先の鞘開きが馳ないので壽命長く乘替するには此の位い有難い事はなく……

白米先物弗々
日米の移出は現下依然こして少なからぬ不引合ひにあるも新米の前途は人により頗る見解の異なるむけ先物は賣買兩者の間に多少商談の餘地あるが如く今朝は別記の如く十一二月物の手合ひありし外商談中の物あれば先物は自ら遂ふて取組を見るに至るべし

農家賣惜む
新米は昨今漸く刈入れを了りし處にて尚數日間は出廻りを期待し難く殊に本年は旱魃地の米收高は豫測困難なる爲農家は何れも之が見定め付迄は持米を手放さざる模樣なるが季節柄こて今旬日を經過せば多少出廻りを見るに至らん

栗買氣引立つ
滿洲粟は產地不作の先高見越しに正米氣配の強調を受け先物に對する見越し買望み可成に多く今朝は人氣大に引立ちて久々別項の如く大商內行はれ氣配も徐々上向き步調を呈して眼先尙強硬の模樣なり

京城穀物商內
米　一等白米五斗入十一十二月渡…
粟　滿洲粟…
…（以下不鮮明）

驛發著穀物
十一月十六日より同三十一日中の南大門驛著の分……

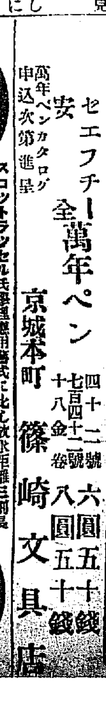
仁川正米市場
當正米市場は高值は賣方見送りの一面產地は安值惜みにて商內閑散を呈せり氣配は三等神力標準古米四十四圓四十錢新四十五圓二三十錢見當にて水原中白三百叺四十五圓三十錢特等玄米三百六十五叺四十七圓二十錢にて商內行はれたり▲大豆は高值買控へなるも人氣更に弛まず長湍古物千叺二十五圓六十錢にて馬場精米所へ出來せり

釜山正米市場
內地期米軟弱を報じ相場二十錢安新米三等神力四十八圓所にて一千六百叺古米二十錢安四十五圓所にて六百叺出來大豆新大豆三十錢高二十六圓九十錢にて五百叺古大豆五六十錢高の二十四圓十錢所にて一千五百叺出來たり（四日釜山）

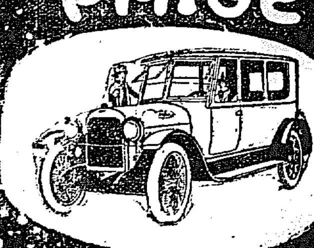
期米賣買之敷判進呈
仁川米豆取引所仲買人
廣澤正次郎
仁川海岸町三丁目
電話長七番・一六番

麥粉頭重し
麥粉は上海粉の歐洲輸出こ米價の氣丈により人氣減切立直り市價は昨報の如く細の五圓五十錢先大口商內行はるゝに至り眼先向上步調の氣構へありこ雖も本節は早魃當時に於て思惑者の先賣相衝ぎ今日尙之等持品の整理未だ付かざる折柄にて人氣に乘ずる買物所ご無きのみならず折好く此等持品を賣拔けんこする向少なからざれば人氣の割には相場の上に反響薄く今朝は延遲の狀態に頭重く感じたり

京城正米市場
外米第七回の貨下げ氣構へによりて內地期米昨後場より人氣軟化の模樣を移したるも今前場は引戾し步調こなり相當の向が多い來れりこ雖も未だ反接ある地正米の成行を知れずこの內地正米の成行は輕々に斷ず可からざる故に已に當地も京城市場は引締り買入



營業品目錄
海產物、乾物、雜穀、漬物、各種罐詰、醬油、銘酒、和洋酒、荒物、食料品、罐詰類
セメント、コールター
其他日鮮人向日用品一切
◎穀類買入
仁川新町　龍山中組代理店　津田兄弟屋本店
京城明治町二丁目　津田兄弟屋支店
黃海道兼二浦　津田兄弟屋出張所



伊達騷動

第四十九席 小金井芦洲講演

鬼役は丹三郎

酒徒も藥を盛る時は眼でしたらうが、然うなつて見ると五千石ですから嬉しくないこともございませぬ。喜んで居る内に席が替つて是れから御酒下され、總て暇を告げて廣尾の屋敷を辭去した。跡でまた兵部少輔、原田甲斐が 兵『耐劑をさせた處であるから利き目の薄くなると云ふこともないが、一刻も早く困るた方が宜しい、明日早朝食事の中へ加味してそして毒殺をいたさうと心得る 甲『如何にもそれがお宜しいと云ふので次の間に最前から差控へて居つたのが改め役の園田吉兵衛に多田武助と云ふ二人此の仙臺屋敷で改め役と

云ふ役に鬼役と云つてお館へ差上げる食物其他の物を改める役で二人は素より惡人一味の者ですから今日も呼ばれて次の間に差控へて居りました、右の二人を呼出して 甲『偖て吉兵衛武助、ヱヽ今日大膳適益に對して申付けた此の毒藥を以て明日早朝食事の中に加味いたして龜千代君に差上げて呉れよ、少々苦い由であるから、餘り苦みが舌に觸らぬやう、獻立を餘程心付けて呉れイ 吉『恐れ入りましてございます』如何にも仰せの趣き承知は仕りましたが、明朝は私共の當番ではござりませぬ 甲『ホヽウ、其方共ではないか 吉『明日は鹽澤丹三郎でございます手前共は委細承知はいたしまして居りますが、明日お食事を改めますのは鹽澤でございます、されば此の丹三郎をお味方に引入れなければ成りませぬ 甲『イヤ夫は心得た、唯今使者を遣はして丹三郎を呼んで申付けるで

あらうから其方等は次に控て再び休息いたして居れ 武『畏まりました。したが念のため之は申上げて置きますが、鹽澤丹三郎は親一人子一人、孝心深く正直一圖の者でございまして、餘程お心付け遊ばしませんければ大事は明せませぬ、其邊御如才もございますまいが…… 甲『好い、自分に心得があるから左う心配をすることはない、退つて居れ、毒藥は此方共に渡して置く 武『ハイ、確かにお預かり申上げます』多田武助、園田吉兵衛の二人は次に下つた、甲斐は急使を馳せて丹三郎を呼にやりました、此人は父を幼少の頃に失つて未だ在続と云ふ譯に行かず、本來ならば一時家祿召上げと云ふやうなことになる所を甲斐の執りなしで、別に知行に觸らず親一人子一人で至つて孝心深き男、其内に大分成人をいたして參りましたから、甲斐が召出だして、漸々と重く用ゐられ、人間が無類の實直であるに由つて、これが改め役となつて上役の通りも好かつた、其の恩人の甲斐が火急の招きですから取敢ず廣尾の屋敷に推參をした、暫時控へ所に在つて休息をして居る所へ呼出だされて御前に出ると云ふと、正面の所には例に由つて兵部少輔、丹三郎最と鄭重に兩手を突へて御挨拶を申上げます 丹『ヘヱ、火急のお召でございまして罷り出でました 甲『イヤ丹三郎、早速ながら其方に相尋ねることがある 丹『何でございますか 甲『其方は幼年にして父を喪ひ、本來なればお家の掟、知行にも觸るべき所をれ吾等が眥きやうに取計らふてやつたればこそなんの故障もなく今日お勤めが出來て居るのである、恩ケ間敷いことを申す譯ではないが、萬萬忘れは致すまいな 丹『ヘヱ、是れは又事新しき仰でございますが、常始終其事は申暮して片時も忘れたことはございませぬ 甲『フム、就ては今日其方に申付ける儀は外ではない、爰に……』と甲斐濱徒に申聞かせたこと 即ち龜千代君は正統でない、市之正は瑞殿寺殿の正しき血脈であることなどを言葉巧に說き終り 甲『就ては毒藥を以て龜千代殿を毒害すべく既に同役の多田、園田の二人は承知をいたして次に控へて居るから呼寄せたのぢやが二人と心を合せて明朝お膳部に毒を入れてお館に差上げて呉れるか、何うだ……

大演習の特色

軍司令官と傳書鳩

本年の特別演習は愈々十一月十一日より十四日迄の四日間姫路平野より攝津平野一帶に亘り舉行せらるゝ事に決定せるが之が參加師團は大阪第四、姫路第十、善通寺第十一、岡山第十七の四個師團及航空隊、電信隊、傳書鳩班等の特科隊なるが第四、第十兩師團は東軍に屬し柴五郎大將之が司令官たり第十一、第十七兩師團は西軍にして秋山好古大將之を指揮す而して東軍參謀長は野戰砲兵射擊學校長磯村年少將、西軍參謀長は參謀本部第四部長國司伍七少將にして柴司令官並に磯村參謀長が共に砲兵科出身成に對し秋山西軍司令官が騎兵科、國司參謀長が步兵科出身たるは作戰且に演習經過上注目に値すべきものあるべく而も佛國航空隊の懇切なる教授に依り一躍顯著の進歩を遂げたる我航空隊はモーリス式初め快車ニューポール式、ソッピース式を陸備機共卅六臺を兩軍に配屬せしめて偉大なる活躍を遂ぐるのみならず歐洲大戰に於て殊勲を奏せる傳書鳩亦統監部に屬して本能を發揮すと言へば蓋し本秋の大演習は軍事上種々有益なる經驗を齎すべし

十一月六日

(舊)九月十四日 木曜日 ▲みづのへいぬ 八白 ▲丑寅 東北 ▲佛滅 ▲角 ▲たつ

▼八白▲ 充分氣を落付く可き日
▼九紫▲ 諸事共に平運の日なり
▼一白▲ 金錢上の利益あるか又は嬉しき事ある日 不正なれば凶
▼二黑▲ 注意さへすれば大體の事は進んで爲すに利益ある日也
▼三碧▲ 感違ひの起り易き日也
▼四綠▲ 病氣を殊に注意すべし
▼五黃▲ 利益ある日にして燥せざる時は意外なる効果あらん
▼六白▲ 或は意外の喜び事あるやも知れず心正くすべき日なり
▼七赤▲ 氣迷ひの起る如き日なれど味はへば見込のある日なり

演藝案内

本町一丁目 電話九七番 御成 喜樂館
○當る拾日廿日より特選三大映畫提供 ○喜劇モリ酒の製造 ○滑稽喜劇遊び ○日活京都派特選映畫 松尾大合同
明治維新の際小田原藩主大久保加賀守恭順の意を表しましたが好佞なる家臣佐藤の名に隠れて主家を危くしましたを大西鄕の働きにて安泰に治まると云ふ勤王美談 小田原城響の太鼓 五巻
米國ヴァイターグラフ會社作 人情劇 探偵の娘 全四千呎
日活向島派新派撮影本月活動雜誌參照 新派大悲劇 子持藝者 五巻
云ひ殘したやら聞き殘したやうな別れ際の梅香はそんな生優しいことでないまで心の襟を取り別れなしても悲しい思ひを浮世は何故に二度もまかせねばならぬのでせう是非泣いて貰はねばならぬ
○○特別興行の處絕對に値上げせず ○○毎日晝夜開館

京城明治町 電話二六○ 浪花館
浪界の親玉雲右衛門入道共演 桃中軒雲士右衛門一行 當る廿七日午後六時開演
▲義士銘々傳 桃中軒富士丸
▲浪花の色鳥 桃中軒小富士
▲水戶巡遊記 吉川八重勝
▲武士道の琴 吉川秀炭
▲金門北路の梅 立花龍山
▲宗吾神社由來
▲義烈百傑傳 前名富士右衛門 二富士衛門

櫻井町 電話八七三 大正館
日本活動寫眞會社代理店
當廿一日より三大寫眞(入場料普通)
○實寫『鳩牛の瀑布』長尺 ○滑稽劇『附貌切』長尺
米國ルビン會社傑作 正劇『人の心』三千呎
京都派新作 不貞の妻は如何に纏綿悔悟復活か
日活京都派 ▲勤王俠客『安政水滸傳』
幕末擾亂の頃北小路俠久鄕に仕へたる忠僕金五郎は勤王の志士梅田源次郎等と交り主家若君を守護し皇國の爲め盡碎せし壯快なる俠客劇
日活向島派本年度大撮影 松之助扇太郎大合同劇全四巻 ▲大悲劇『つきぬ涙』
呼々處女!汝が清純なる心の鍵は手により?破らるゝか?惡は利を鬻ぐ金力は眼?東?思はぬ人に犧牲となり可憐なる無垢の少女を見るも涙なる涙の子大悲劇
◎毎月一日十五日日曜祭日晝夜開館

女と戀と

女性大家專門研究心理 堤玉香先生著

『戀せずば人の心もなからまし』實に戀は詩であり花である『戀を知らぬ男こそ冷血無情共に人生を語るに足らず、名匠の手に成る大理石像の如き變の乳房に秘めたる深き思は抑も如何、二つを笑んだら傾國傾城魔神か女媧か、女性心理の研究家として有名な堤玉香先生の艷治の筆に成り千古の鐵案を得たる裏表四十八手縮下音の極意を盡す令孃生娘藝妓酌婦娼妓女給女中女工奧樣細君に應用自在、生かすも殺すも思ひの儘人生快樂中の快樂を心ゆくまで味はんと欲する粹士は是非一讀せよ佛國形美本定價八十錢 今回限り四十錢に割引す希望者はハガキで『オコ送れ』と申込次第代金引換送料共八十五錢 前金注文は郵券代用一割増

京市不谷區池の端七軒町 振替東京三〇八四九 福陽堂書店

中風病

中氣にて他藥を用ひ効なき慢性の方も癪く程キク家傳良藥有り返信料封入申込有れ詳報す 兵庫縣明石相生町 石戶湯

若き男女の必讀書出づ(最新刊) 生殖器學全書

●洋裝上本七百餘頁 價參圓五拾錢 目下割引送共金貳圓八拾錢
男女の愛はこれ天の與へし人生の幸福なるも、從來これを秘して人に語るを避く、されば若き男女はこれに關して人に問ふ事能はず知らず／＼不衛生に陷り又は人生快樂の滿足を知らずに不幸一生を誤る者少からず、されば昔は嫁入道具の一として本書の如きものを必要とせしも偶然に非ざるなり。斯道大家ドクトル先生我社の熱望を入れ本書を著述さる、内容の豐富、艷麗、挿入の寫眞皆よく細く人をして悉く滿足せしむ。内容の善美は以て出版界近來の誇りたるべし、密封小包送本(一冊送料)セキ一冊送れとハガキにて申込次第代金引換にて直に送本す實に飛ぶが如く第十二版將に切れんとす特に目下特別割引中なれば此際至急御注文あれ
發行所 東京神田三崎町三ノ十一 オイルダイムス社 振替東京二八二〇二番

觀相

京城永樂町一丁目(交番向横町) 石龍子先生直傳 酒井龍孫

朝鮮京城本町 陸軍御用 ツ 人參エキス
各支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候 御用の節は本店へ御注文願上候 一藥品切の節は
津村兄弟商會 電話一四八〇番 一八七〇番 振替京城三五一一番(略號ツ又はツムラ)

軍隊拂下被服類

京城府北米倉町 電話一壹壹二番
營業品目 一紺茶ラシャ服外套各種作業服 一防寒用具、防寒靴 一毛布 一諸雜貨 メリヤス
村上商店

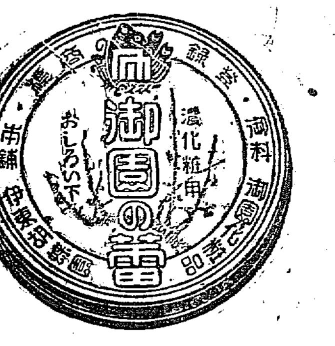
兵庫縣灘魚崎 山邑酒造株式會社釀造
宮内省御用達

サクラ正宗
發賣元 櫻正宗
京城明治町二丁目 山邑酒造株式會社京城支店
電話長八四九番 一四五四番 振替貯金口座京城七五五番

田中丸病院

京城西小門町一二一地番
院長 醫學士田中丸治平
副院長 醫師上野和夫
【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり 電話八八五番

濃化粧下



肌にサラリと溶込む他に比のない白粉下
洋風薄化粧の時にも至つて重寶な白粉下

御園の蕾

御園の蕾は濃化粧の時、又襟足を濃く美しく粧る時には至つて貴重な白粉下で之れをつけて御園白粉を粧けますと、白粉の着きがよく又化粧崩れを防ぎます。

御園の蕾の使用法は至つて手輕で、極く少量を掌に取り分け、よく煉る樣にして襟から顔にかけて、万遍なく叮嚀に擦り込む丈けで、十分の効能が御座います。

御料御園白粉本舗 伊東胡蝶園
御料御園白粉發賣元 丸見屋商店
(422)

營業科目

日本柱管株式會社
日本エレベーター製造株式會社
米國キャボット會社
米國ヘルマン會社
馬淵大理石工業商會

一、特許鐵筋コンクリート電柱
一、特許鐵筋『コンクリート』水道管及土管
一、東松式『コンクリート』煙突
一、東松式エレベーター、リフト設計製作
一、捲物機械クレエン、コンベアー設計製作
一、米國キャボット會社製塗料各種
一、米國ヘルマン會社金庫並戶扉附屬品各種
一、大理石材並製品
其他建築材料諸器械

朝鮮一手販賣 京城府長谷川町八十六番地 日米公司 電話二五三〇番

日本一 龍 ほまれ味噌
日本醬油株式會社京城出張所 電話長二四五番

梅毒腫物下疳、横痃切疵痔疾擦靴傷等の良藥は
無比 ヒトモト膏
定價五錢 拾錢 三拾錢
本舖 大阪最毛町難波稻荷通り 中井馬鑑製
御求めの節馬の商標に御注意を乞ふ

優秀ナル淋病内服藥 ゴノチール

(說明書郵呈)
◎極メテ合理的ニ創製セラレ彼ノ危險ナル洗滌等ノ副療法ヲ要セズ單ニ本剤ノ内服ニ依リ淋病、膀胱、尿道炎等ニ對シ適確ナク前藥ノ目的ヲ達シ且何等副作用無キ最モ卓越セル一新劑ナリ
(各地有名藥店ニアリ)
三拾錠入 七拾錠入 百六拾錠入 (容器) 壹圓 貳圓 四圓
發賣元 大阪市道修町 西村藥林社

天下一品 白鶴
增本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九番

鷄卵配達開始
京城本町二丁目五〇 守山鷄飼育所 電話五四一番

公債株式現物賣買 證券担保之金融信託 工業藥品理化學器械 滿洲製紙會社特約店
大連株式商品取引所組合員 滿洲證券現物市場仲買
龍 開源商會
大連市若狹町一一三 電話長一七九八番 振替大連二一〇二番

大阪商船出帆

(仁川出帆)
木浦大阪行 安東丸 十一月五日正午出
群山大阪行 大進丸 十一月十三日正午出
三瓶山丸 十一月十三日正午出
(元山出帆)
浦潮行 安平丸 十一月
釜山門司宇品神戶大阪行 安平丸 十一月六日後十二時
(大連出帆)
上海、基隆、打狗行 湖北丸 十一月五日前六時出
基隆丸 十一月廿日前四時出
内地各港行 (每週一回)
歐洲行 每月二回
南米行 每月一回
濠洲行 每月一回
御注意 外國航路の乘船切符御申込の節は時日と乘船地を明記し相當前金を添へ申込まれ度し
大阪商船株式會社仁川支店 電話二番 五〇番

共同汽船仁川出帆

秦皇島行 第二共同丸 十一月 日午後入港
青島直行 第十一共同丸 十一月八日午後入港
大連直行 第六共同丸 十一月十日午前出帆
第十三共同丸 日午後出帆
大連にて朝鮮鐵道主要驛にて青島行定期船接續旅客連絡運輸
阿波共同汽船株式會社 仁川代理店 本町四丁目 電話一七三番
元山代理店 南大門町 電話二〇七六番
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆

鎭南浦行 元山經由 十一月 日
平安丸 十一月 日 元山發
浦汐行 大阪經由 城津、清津經由 十一月 日 釜山、元山發
越後丸 十一月 日 元山發
雄基行 勝門、淸津、各港經由 十一月 日 元山發
京畿丸 十一月 日 元山發
雄基丸 十一月 日 元山發
元山雄基線 雄基出帆 十一月 日 元山發
鏡城丸 十一月 日 元山發
大阪行 釜山、門司經由 十一月 日 元山發
越後丸 十一月 日 元山發
關門行 各港經由 十一月 日
京畿丸 十一月 日 元山發
平壤丸 十一月 日 釜山發
鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由
咸鏡丸 十一月 日 釜山發
釜山浦項線 ○宗信丸 ○慶資丸
濟州島行 昌平丸 十一月 日 釜山發
濟州島行 十一月 日 木浦發
東迴 慶興丸 十一月 日 木浦發
西迴 公州丸
釜山浦水線 釜山、麗水
木浦麗水線 順天丸 十一月 日 木浦發
多島海行 慶興丸 十一月 日 木浦發
木浦行 仁川發 晉州丸 十一月 日 仁川發
海州行 ○全州丸 ○南陽丸 十一月 日 仁川發
鎭南浦行 天陽丸 十一月 日 仁川發
大連青島行 江原丸 十一月 日 仁川發
○朝鮮郵船乘船切符 本社 京城南大門通 電話長三三三
釜山佐藤町 釜山支店
元山海岸通 元山出張所
仁川代理店 郡回漕部
木浦代理店 山野回漕部
京城 松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

尼崎汽船仁川出帆

群山木浦下ノ關大阪行
○赤城丸 十一月 日後四時出
一心丸 十一月 日後四時出
○神代丸 十一月 日後四時出
秀吉丸 十一月 日後四時出
君が代丸 十一月 日後四時出
○大有丸 十一月 日後四時出
印船客御斷 ○印二等船客 仁川海岸町 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

大連天津牛莊行 濟州丸 十一月廿六日正午出
營口丸 十一月十六日正午出
△都合ニ依リ木浦ニ寄港スルコトアルベシ
△不船時間前ニ拘テ旅客ノ送迎ヲ一切謝絶致候ニ付乘船御見送リハ御斷リ
但シ濟州丸ハ下段客ヲ取扱ハズ
仁川海岸町 堀回漕店

互光商會汽船出帆廣告

◎元山、西湖、城津、淸津行 第三 丸 十一月 日釜山發 日元山發
◎門司、宇品、神戶、大阪行 第三 丸 十一月 日元山發
釜山 大池回漕部(電話一三) 元山 田口回漕店

汽車時間表

京城日報（年中無休刊）
本紙 一部金四錢 ▲一ケ月金[illegible] ▲三ケ月[illegible] ▲六ケ月[illegible] ▲一ケ年[illegible] 郵券代用一割增
廣告料 五號十四字詰一行[illegible] ▲特別[illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號長六千九番 振替京城三〇〇番

多額の輸出

[illegible]因するものにして歐洲は只輸入に[illegible]あるに基[illegible]は近き將來に於て月合社絡の已むなきに至るや測られず去れ[illegible]立せしも戰爭終熄に依り此[illegible]全然不用に歸したるを以て政府は債券を發行して民間の資金を[illegible]時する金融の途を圖り尙此會社[illegible]方策講究せられつゝある模樣な[illegible]業者は其成行に關し多大の注意を拂ひつゝありき[illegible]こして其制限を主張されたるも[illegible]のなれば今回若し米國炭の代用こして輸出を見るに至らば再び[illegible]少を示して昨七年度に至りては[illegible]二百五十餘萬噸に[illegible]約半減し更に米炭の[illegible]八年度も上半期に於て百廿餘萬[illegible]至るも大體の輸出は殆ど不可能[illegible]

上半期 [illegible] 同 八年 [illegible]

京城日報
寺內伯薨去

元帥寺內伯薨去の報は、曾て一たび傳へられたるが、幸にしてそは假死の狀態に陷りたるに過ぎず、其後の容態日々に佳良に赴きつゝありとのことにて吾人をして一旦愁眉を開かしめたるが、[illegible]遂に快復するに至らずして、將星地に落ちぬ、國家のために痛惜に堪ふべけんや。

伯は明治の初めより陸軍に仕進し、各種の要職を經て、功績の錄せらるゝ少からずと雖も、第一其の國家に大造ありしは、第一次桂內閣に陸軍大臣たりし時に始まる。是の時に當り東亞の風雲甚だ急にして、露國との國際關係甚だ緊張し、何時其の破裂を見るやも知るべからざるの形勢を示せり。伯が此際に於いて陸軍大臣の要職に膺りしは、最も適當の適材たりしなり。蓋し攻城野戰、三軍の間に叱咤するは、伯の長所にあらずして、軍政を整理し、王師をして後顧の憂なからしむるは伯の手腕の存する所なるを以てなり。果然明治卅七年國運を賭して露國と戰端を開き、二箇年の長日月に亘り、强敵を滿洲の野より驅逐したるが伯は能く適何の任を完うし、閫外の諸將をして十分の功績を奏せしめたり。伯は其功に依りて子爵を授け功一級に叙せらる。伯が朝鮮總督として、日韓併合の難局に當り克く其大任を完くし八道の草木をして微搖だも起さざらしめたるは、伯が政治家としての手腕を十分に發揮したるものにして、人をして永く景仰を禁ぜざらしむ。爾來朝鮮統治の衝に居ると七年、治化漸く洽く、蓬萊島に與り民生爲に聊く、殆ど舊來の面目を一變するに至りぬ。論者或は伯の朝鮮統治策を以て武斷的色彩の濃厚に過ぐるを難ずるものあるも、是れ時勢を解せざるの言にして、固より以て伯を疚しむるに足らざる也。伯の朝鮮より入りて內閣を組織するや、放漫なる大隈內閣の後を承け、其苦心の慘澹たるものありしも、不幸にして時可ならずして、彼の米騷動の如き不祥事の勃發するに遇ひ、幾くもなくして病を以て骸骨を乞ふの止むを得ざるに至れり。然れども是れ强ち內閣の失政とのみ酷評すべからず。論より證據、伯の內閣倒れ、原氏之に代れりと雖も、物價の昂騰依然として繼續し、米價の如きは更に二割の暴貴を見るに徹するも、所謂米騷動なるものは、畢竟一時の妄擧にして、深き根柢なきものたるを知るべきにあらずや。伯の資性誠懇、盡忠報國を以て其の生涯を一貫せるは、近世政治家中匹儔の少き所にして、此點に於ては如何なる政敵と雖も之を否認せざるはなし。今や山縣公は深く伯の至誠盡忠に賴む所あり、身後に於ける補弼啓沃の任を囑望し居りたる由なるが、老少不定、伯は公に先だちて不歸の人と爲れり、是れ獨り公の失望のみならず、深く同胞國民をして痛恨に堪へざらしむ所なりとす。京電に依れば、伯の病大漸なるや、特に從一位大勳位に陞叙し、菊花大綬章を賜へりと、天恩の渥き、伯亦以て瞑すべきなり。吾人は鮮に在住する者、伯の薨去につき、傷悼の意特に切なるものあり、蕪辭を陳して遙に英魂毅魄を弔することゝ爾り。

新宗教を宣す（二）
宮崎虎之助氏講演

古から一つの教へを開き而して夫れを宣傳する所の者があつた。現今もある、今後にも必ずあるべきである。從來の基督教でも佛教でもそれ等の主張し、眞理とする所のものは何れを見ても皆同一のものであることを發見する。世間では佛教の說く所と基督教の說く所とは非常に相違して居るかの如く思ひ、甚だしきは相互に爭ふ樣なこともないではない。けれどもよく其の眞相を究めて見ると、佛教も基督教も實は同じものである。其の異なる所は唯だ形式だけである。佛教は印度に於て現はれ基督教は猶太に於て現はれた。さうして基督教は歐洲に傳はり佛教は支那日本に弘まつて居る其の民族を異にし歷史を異にするが爲め其發達の狀態には大なる相違がある。けれども佛教の佛と基督教の神、日本の神道に於ける神、孔子の所謂天は名前こそ夫々違つて居るが皆同じものである。又若し夫れが別々のものであつた時には、大變なことである。世界を照らす太陽は一つである。電燈は幾ら澤山あつても電燈と云ふ性質に於て一つである。此のことは恐らく何人に多數の人もさう考へて居るのであらうと思ふ、豫言者は夫れを一層明かにし夫れは、實際間違のないことであると保證するのである

宗教の目的は一切の人類の生活をして偉大ならしめ貴からしむべき根本目的を持つて居るものだと云ふことを知らなければならない。動もすると其の他の事業或は政治に携つて居る人の中には、ものゝ自分こそが非常に[illegible]ものであるが如く思ふ[illegible]甚だしきは相應の所謂識者[illegible]ありながら斯かる考へを有する人があるが夫は大なる誤りである

生別死別
＝（不許轉載興行）＝
服部硯月

第卅七　母と子と

井上は歸りに齋藤屋に寄つて腹を拵へ、其の足で澁谷の三浦母子の寓居を訪れた。

姉弟の子供が家内にゐるので井上は門口に立つた儘今日重之に出會つた一件から、要の處置に就き、重之の決心の概略を傳へ、明晩更に訪れる事に約束して井上は歸つて行つた。

美代子は終夜泣いて考へたが今更他に詮術もなく所夫の意志に從ふ事に決心した。

美代子は翌朝菊枝を學校に出した後、要を膝下に呼んで今更の如く滋々と要の顏を見入つて泣き出した。要は其の後學校に通ふのを止めさせてある。

『母さん、何ぜ泣くの』

要は理由は分からずに母の悲嘆に眼を濕ませた。

『母さん！母さん、母さんてばごう仕たのよう、何處か惡いの？』

『いゝゑ、母さんは何處も惡かないの、要さんこそ痛くはないの、一寸痛い所を見せて御覽』

の美代子は要の左手に卷いてある繃帶を解いた。手の甲の色取つて少しく糜爛れてゐる創處を見て、母は一入淚に咽んだ。

『痛くはないの』

『あ、些とも痛かない、母さん何故泣くの、姉さんを呼んで來やうか』

『いゝわ姉さんは呼ばなくつても好いが……あのう要さん、要さんは阿父さんに逢ひ度いの』

『逢いたいとも、逢いたくつて逢ひ度くつて仕樣がないの、だつて死んじまつたんだもの』

『だけどね要さん、萬一阿父さんが生て居られて阿父さんが來いと被仰れば行きますか』

『行くとも〳〵何處へでも行くよ』

『母さんが行かなくつても』

『姉さんは？』

『姉さんは學校に行つてるから行かれないの』

『だつて〳〵僕は困るな、併しご母さん阿父さんは死んぢやつたんだらう』

『夫れがね母さんは阿父さんの亡くなられた所にゐなかつたから能く知らなかつたの、所がね昨夕井上さんが來て、阿父さんに似てゐた人を見たツて……』

『さう、本統に阿父さんなんだらうか、活てるさ好いね嬉しいな活きてるさ、活てるよ〳〵屹度生てるよ僕ア初めから阿父さんが死んだやうな氣が仕ないだもの』

『では母さんと姉さんとが行かなくても、要さん一人で阿父さんの處へ行けるでせう』

『行けるさ僕は男兒だものだけご母さんが來ないと淋しいなァ母さんは來ない？』

『だつて母さんは姉さんを學校に入れて置かなければならないもの』

『さう、母さんは淋くない？』

母は餘りのいぢらしさに、思はず頰摺りをした、熱い淚がはら〳〵と零れる。

『ちや要さん、阿父さんが生きていらッしつて、ごんな風采して居ッしッても構はないの』

『風采なんか構はないよ、乞食だつて何だつて好いよ、阿父さんだつたら！』

要の言葉は母の胸に犇と響いた、人並勝れて賢しい子を何の因果で世捨人にしなければならぬかと思ふと、もう〳〵堪らなくなつてわッとばかりに泣き崩れた。

神仙爐
分り易き川柳（三）
劍花坊

この頃の米價騰貴の時節には、殊に適切に感ぜられる川柳が古いのにもある。

冷飯を見い〳〵內儀米を出し

居候なぞは氣が滅入るだらう。

良人から物を云ひ出す朝歸り

これも今日、よくあるやつだ。

犬を追ふ棒は投るが仕舞也

『投るが仕舞』こいふたこころが卽ち川柳の技巧で平々凡々で、何のこれしきと思はるゝ事柄も斯う言ひ廻すと、非常に面白いこの邊になると深く川柳の堂に入つたもので無いて、出來難い。

女房の留守もかくオツなもの

は言廻しもへつたくれも無い、其通りを其通りに詠んだのだが味はつて見ると、ツイ閻罩では無い、そこに云はれぬ妙味がある、却つて前の句の技巧よりも深いこころがある位だ。

朝鮮總督府
第一號 紙屑[illegible]第二號[illegible]古木[illegible]第三號[illegible]鐵板帶鐵空罐類、第四號古被服類
右各號別ニ拂下クヘキニ付十一月四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

新材賣却公告
一、新材約千六百尺締（在花山）
右入札ノ上賣却ス詳細ハ會計課ニ就キ承合セラルヘシ
大正八年十一月　李王職

店員入用
希望者自筆履歷書携帶來談あれ

活字
各號初號より七號に至る各號約六百貫及十六頁寸延活版機械譲渡し度し
京城長谷川町電話二七五
近澤洋紙店

看板はフジノ工舍
サツポロヒール專屬工所 京城本町三丁目 電話七三二番

大々好評
交際上手社交の必要で立派に粹人となれる
宴會百藝　全一冊
▲符判二百頁かな附洋裝美本大割引特價送料共七十五錢
◎宴會の席に尤必要なは交際上手即ち人を逸きさせず洒落滑稽談に花を咲かせ且一通りの隱し藝が必要である唄はずらず只ボンヤリして居るは誠に見しく又本人も恥をかく場合が多い、本書は極最新の隱し藝の粹を集め先づ清元唄長唄、常盤津、新內、義太夫、浪花節、新作流行歌、詩吟、劍舞、其他一切の俗謡方法、お座敷手品、滑稽踊、數師、謎話一切の獨習自在の珍書かよ（密封人も是非秘密に稽古して置かれよ）◎申込は前金の事振替又は爲替こす局不便の地は切手一割增でも可代金引換は實費增
東京赤坂丹後町　青年通信社　振替東京三四九壹貳

新政と地方行政に對する各知事の經綸掲載の十一月號
朝鮮公論
▽諮問機關設置の必要を論ず（社說）
△產業政策の一新…殖產局長 西村保吉
△學校增設の急務…學務局長 柴田善三郎
△互讓の美風を示せ…內務局長 大塚常三郎
▲支那經濟觀…長谷川生
▲財界の近時…一記者
▲新日本主義…閔元植
▲泌尿器の話…瀨戶醫學士
▲鬼談怪語…五城樓
▲公論餘滴…公論子
▲秋の運動會總評…老撰手
△追悼琵琶會・錦心・豐澤龍綠引退…記者
△花柳界今昔物語…燮影子
△地獄對話…△拖滕獨語
新政と地方行政に對する意見
▲文明機關普及の急務…平北道知事 飯尾藤三郎
▲施設更新の秋に膺り…慶北道知事 藤川利三郎
▲新施政の徹底に努力…黃海道知事 中鹽熙
▲政治は常に新政を要す…江原道知事 元應常
▲經驗と智識との應用…慶南道知事 佐々木藤太郎
▲總督新政と事務簡捷…京畿道知事 工藤英一
朝鮮統治の近情と其眞相…衆議院議員 井上角五郎
對支貿易と商工實力の充實…文部大臣 中橋德五郎
日本の對外發展策に就て…日銀總裁 井上準之助
協調會の成立と其事業…法學博士 山脇玄
國際勞働會議に就て述ぶ…法學博士 河津暹
購讀申込所 京城 朝鮮公論社 振替京城一五七七
定價四十錢 郵稅一錢五厘 六冊前金郵稅共二圓四十九錢 全國各書店にあり

言論界の權威　雜誌の中の雜誌
新時代　十一月號　每月一回發行
最近の思潮（講壇上雜話）
◇時代と思潮 ◇批判と威力 ◇日本人の偶像 ◇精神修養と儒教 ◇物質と道德觀念
黑板勝美 松本亦太郎 吉田熊次 服部宇之吉 大島正德 三輪田元道
信仰の矢叫び（教壇上の獅子吼）
◇現代と宗教 ◇眞の信仰とは何ぞ ◇モーゼの十誡 ◇生死卽涅槃 ◇社會と宗教との交渉 ◇國民教化と我國の思想史
金子馬治 椎尾辨匡 內村鑑三 近角常觀 [illegible] 本多日生
大阪財界の人物（月旦）日曜東生
國民詩の將來　井泉水 北原白秋
藝術上の眞の自由　中山啓
地方新聞の改新（新聞記者の隱し藝）
武士道の英米化（武士道の活文字）　法學博士 三潴信三
大正生活の建設（國士の雄叫び）　文學博士 椎尾辨匡
思想界の現狀と國民の進路（國民の進路を明示す）　內村鑑三
物價問題に關する政府の立場を辯ず　三土忠造
禪眼に映じたる梁木（不明[illegible]）　南天棒
陣容を新にしたる東京日日　新聞記者動搖の底に流るゝ者…中原鄧州
低氣壓に包まれたる報知新聞　光三の帝國通信
暴風雨の襲來期たる東京每夕　青島少年帝國新聞記者の所論二大通信系統ユニオン
地方新聞界の消息　野口米次郎及北澤樂天…中野岩三郎
長岡の三新聞　佐賀の四新聞　防長の新聞界　水戶の二新聞　朝鮮の新聞記者　上海と北京の新聞界
小說 有の儘　堤幹
小說 羽織紐　北山南水樓主人
十一月五日發行　一冊郵稅一錢五厘　半年一圓十錢　一年二圓　東京芝區　新時代社

朝鮮興業鐵道株式會社　株式募集

目的及事業
本會社ハ朝鮮ニ於ケル鑛物ノ大寶庫ト稱セラル江原道三陟、蔚山、殷山、順川地方ヲ主要企業地域トシ平壤トノ間ニ輕便鐵道ヲ敷設シ左記ノ業務ヲ營ムモノトス
一、運輸並其ノ附帶事業
二、倉庫業並物貨ノ委託賣買
三、生產物ノ加工並賣買
四、興業上必要ナル物資及建物ノ貸借賣買
五、土地ノ經營
六、鑛業

本會社ノ特色
本會社設立後ハ營業前ト雖モ鐵道資金ニ對シテ前記地方ニ於テ既ニ許可ヲ受ケタル鑛區ハ鐵、金、銀、銅、鉛、黑鉛、硅砂、金ノ各種四十餘鑛區ノ外現ニ出願中ノモノ數十鑛區ニ及ヘリ殊ニ鉛同地方ハ無煙石炭ノ保留區域ニ關シ其包量ノ多大ナル平壤炭田ニ比シテロレルモノアルハ夙ニ專門家ノ唱道スル所タリ、由來大同江ノ航運ハ其ノ下流ヲ除クノ外水量ノ少キト冬期結氷トノ爲ニ運輸能力微弱ニシテ此等鑛業ノ開發ヲ促進スルニ至ラザリシモ本鐵道敷設ノ曉ニ於テハ其鑛區ハ採掘サル丶ハ勿論保留炭田ノ解放亦決シテ遠キニ非サルヘク本鐵道ノ將來ハ右炭田ノ解放ト相俟ツテ其使命ヲ新ニスベク本計畫ノ前途大ニ矚目ニ値スルモノアルハ架說ヲ要セサルヘシ

公募ノ理由
本會社ノ株式ハ東拓、古河、大倉ヲ中心トスル發起人及贊成人ノ引受株ノミヲ以テ滿ニ超過スルノ好況ヲ呈セルモ發起人ハ元來本事業ガ營利ノ一面ノ外ニ非スシテ產業ノ振興ヲ企ル國家的事業ナルヲ以テ之ヲ一般ニ公募シ國家的使命ヲ帶フル點ニ鑑ミ特ニ株式總額ノ一部ヲ一般公募ニ附スル所以ナリ

募集要項
一、資本ノ總額　金五百萬圓（株式總數拾萬株）
一、壹株ノ金額　金五拾圓
一、募集株數　壹萬株
一、申込株數最少限　拾株
一、申込期間　大正八年十一月七日ヨリ同十一日マテ
一、申込證據金　壹株ニ付金貳圓五拾錢
一、募入決定ノ方法　應募株數超過ノ場合ハ發起人ニ於テ適宜決定ス
一、第一回拂込金　一株ニ付金五圓（但證據金併算）
一、第一回拂込期間　大正八年十一月二十八日ヨリ十二月一日マテ
大正八年十一月
創立委員長　子爵　松平直平

◎發起人
京城府　子爵 松平直平
平安北道　武井宗十郎
京城府　牧山耕藏
同　津田銀雄
忠清南道　神田仲造
同　金甲淳
京城府　白完爀
東京市　川上常郎
京城府　吉田英三郎
東京市　有田寬治
同　脇田道三
全羅北道　大平德三郎
平安南道　宮川五郎三郎

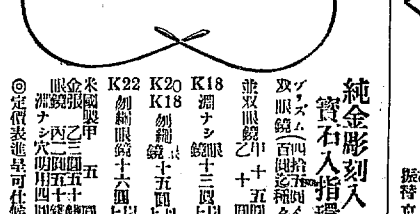
◎贊成人（イロハ順）
[illegible]

◎株式申込並拂込取扱銀行
東京　第一銀行本店
同　古河銀行支店
大阪　住友銀行支店
同　三十四銀行支店
釜山　十八銀行支店
同　朝鮮銀行支店
大邱　十八銀行支店
同　朝鮮殖產銀行支店
京城　朝鮮商業銀行
同　朝鮮銀行
京城　第一銀行支店
同　十八銀行支店
同　百三十銀行支店
同　漢城銀行
平壤　朝鮮商業銀行支店
同　百三十銀行支店
同　朝鮮殖產銀行支店
鎮南浦　朝鮮銀行支店
同　朝鮮殖產銀行支店
新義州　朝鮮銀行支店
元山　朝鮮殖產銀行支店
同　朝鮮銀行支店
定款目論見書株式申込書印鑑票等ハ前記申込取扱銀行又ハ左記へ御申越次第送呈ス
京城東洋拓殖株式會社支店內（電話番號七九壹ヨリ七九四）
朝鮮興業鐵道株式會社創立事務所

■財產管理事務 ■不動產鑑定及調查事務 ■財產整理及清算事務
貴重品保護預り　有價證券重要書類其他貴重品を自宅に置くは甚だ危險にて火災盜難の虞れあり當事務所は之等の貴重品等の保護預りをなし責任を以て安全に保管致します
橋本商事信託事務所
主任 橋本茂雄
京城本町四丁目百十二番地　電話二八一七番

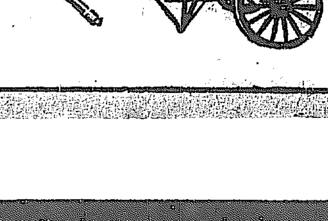
名譽銀牌受領
石灰石粉　製造販賣
品質改良　斤量正確　多少不拘　乞御用命
京城府麻浦　長谷川工場
電話三八三四　振替京城六六三三

純金彫刻入寶石入指環品揃
□金銀懷中時計萬年筆品揃　實用品揃□
米國製甲　五圓
K22 彫刻眼鏡十六圓以上
K20 K18 彫刻鏡十五圓以上
K18 緣ナシ眼鏡十三圓以上
金張 乙二圓五十錢　西二圓五十錢
眼鏡 緣ナシ穴明四圓
非双眼鏡 甲十五圓 乙十圓
ゾーズム（四拾五圓）双眼鏡（百圓迄種々）
◎定價表進呈可仕候
京城本町二丁目　中村眼鏡店　振替京城三四六三番

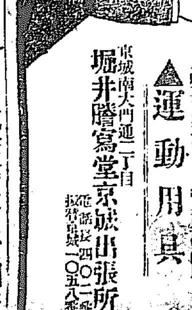


◎活字
擴張の爲め特價販賣
京城明治町武田三二六 振二三五
櫻井活版製造所

❖火災恐るべからず
❖不用意恐るべし
諸君の部落には完全なる消防組の設備ありや
（ポンプカタロク進呈）
京城　熊平支店
電話長六二四番　電話三一五二番　振替京城一二二二番



每月一日休業
京城材木商組合



堀井謄寫版
▲堀井を冠せるもの斯界の白眉なり
▲運動用具
京城南大門通二丁目
堀井謄寫堂京城出張所
電話長四一〇〇二番　振替京城一〇五八番

▲本紙拾月廿九日掲載發兌隆文館圖書株式會社家庭自學文庫廣告中特價提供ノ切期日『十一月五日』とあるを『十一月二十日』に訂正す

獨艦處分問題

聯合國中引渡しを受くべきは僅かに佛蘭西と日本のみ

三十日最高會議に於て決定せられたる協定に基き獨逸軍艦の引渡しを受くべき國は聯合國中僅に佛蘭西と日本のみなるべく佛國に對し現に浮揚し居る就役可能の軍艦を數隻與ふるに決したり同時に日本は獨逸巡洋艦數隻を保持すべし伊太利は墺太利海軍より軍艦數隻を受領すべし休戰成立後英國海軍省は早くも獨逸軍艦全部を擊沈せんとする運動を開始したるが此の運動は一部方面に於ては米國海軍が強力の獨逸軍艦に依り補充さるゝを妨ぐるの手段として看做されたるが然も米國のレーンソン總督は獨逸軍艦擊沈計畫に贊成したり日佛兩國は頑強に此の計畫に反對したるがため爾後英國は其の態度を變じたるもの、如く降服獨逸軍艦擊沈を除りに焦慮せざりき然れどもレーンソン提督は依然其の主張を固持し且つ英國に對し若し英國が割當てられたる軍艦を維持せば米國の海軍擴張計畫は增大せらるべしと通告したりと傳へらる茲に於て英米兩國間に於て雙方とも講和會議に於て分配せられたる獨逸軍艦以外のものをも擊沈すとの紳士協約成立し其後獨逸軍艦の假分配實行されたるが獨逸がスカパ・フローに於て僅數隻を殘し他の軍艦全部を沈沒せしめたるは實に此時なり爾來更に二隻大型軍艦及び輕巡艦數隻は浮上られたり若し是等殘餘の獨逸軍艦にして再び分配せられんか佛、英、米の受領すべき分は僅少となるに至るべし聯合國海軍委員は佛國の斷乎たる要求に會ひてスカパ・フロー事件前に定められたるところに基き佛國に獨逸軍艦を分配するに決したるが此數隻はスカパ・フロー又は獨逸港內に存在する獨逸軍艦の殆ど全部を含むものなり米國民は獨逸最新式型軍艦の能力進步せる防火設備武器の正確等に關する報告を得たる以來米國に分配されたる獨逸主力艦隊を擊沈せんとするレーンソン提督の計畫を後援すべしとは信ぜられず(巴里電報)

我批准と佛紙

佛國外相ピション氏は三十一日日本代表委員を招待して午餐會を催し駐佛松井大使を始め大使館員並に軍事委員全部列席せり佛國新聞紙は日本の講和條約批准に對し滿足の意を披瀝し米國が速かに條約を批准せんことを希望せり(巴里電報)

佛國飛行隊編成

現在イースト飛行隊本部に於ける植民支隊は交趾支那東京及安南在住民に依りて編成され八百名の飛行家參加せり(巴里電報)

英國歲入不足

大藏大臣の修正豫算に依れば三月を限りとする會計年度に於て四億七千二百四十萬磅の不足を示し居れり(倫敦電報)

小露叛亂擴大

小露よりの報道に依れば小露に於て叛亂勃發し漸次ポルタワ、カルコフ、エカテリノスラヴ、等に擴大しデニキン軍の後方を脅かしつゝあり農民は各地に武器を持って立ち勢力重大なるを以てデニキン將軍は叛徒の來襲に抵抗する爲め對過激派戰線より大部隊の豫備軍を移輸するの止むなきに至り激烈なる戰鬪は各地に行はれつゝあり(巴里電報)

東久邇宮御留學御裁可

東久邇宮稔彥王殿下明春佛國に御留學の件御裁可相成りたり(東京電報)

政府外米賣出

政府は十日頃第七回外米賣出をなす由なるが數量及び價格は未だ決定せず(東京特電)

故寺內伯葬儀委員決定

既報の如く寺內伯葬儀は七日に決定せるが式後遺骸を桐ケ谷にて荼毘に附し遺骨は郷里山口縣に持歸り寺內家の墳墓に埋葬するに決せり葬儀委員長以下役員の決定せるもの、中主なる人々の氏名左の如し(東京特電)

葬儀委員長 長谷川元帥
副委員長 加藤友三郎
同 田中義一
庶務係 菅野中將
同 津野少將
同 國司少將
同 畑大佐
同 入江海平
同 下條康麿
同 宇佐美勝夫
接待係 白川中將
同 永山少將
同 竹屋子爵
式場係 井上少將
同 松岡洋右
葬列係指揮官 森岡中將
幹事長 河村中將
同 菅野少將

小造船所消長

大阪支局 護山生

◎大型造船界の繁忙と小型船の需要增加に伴ない小造船所も昨今稍擡頭の機運に向ひ兆々新造船引合を見るに至れるのみならず加ふるに修繕船の繁忙は船渠業者有望の基因となり歐亂時局中艦艇建造のみに從事せし造船所も最近船渠兼營をなし船舶修繕を開始すると共に一方造船計畫を進むるの趨向を示せり

◎現に休戰後に於ける海運界の狀勢は今春來殆んど凋落の機運にありて大阪市內の木津川、安治川、尻無川三流沿岸の小造船所等は稍小康を呈したりと雖も休業中の造船工場にて目下修繕乃至更船等の建造に從事をなすものもありて市內造船工場の現狀を去る九月末調査に據つて見れば作業中の工場にて鐵船工場十七箇所、木船工場十八箇所合計三十五工場を算し居れり尙市內各小造船工場の休業中のもの五箇所全然工場を閉鎖せるもの二十三箇所なるが、前記作業中の各造船所三十五工場に於て目下建造中の船舶は鋼船三十四隻其總噸數九萬三千六百七十噸木帆船四隻其總噸數一千七百噸及び帆船四隻其總噸數一千百九十二噸にて合計四十二隻總噸數九萬六千四百七十二噸にして之を前年七月海運界高潮期の建造船隻數八十五隻其總噸數十二萬七千八百四十噸に比し隻數に於て四十三隻の減少なるも總噸數に至つては僅々三萬一千三百七十噸の減少にて百分率に於て二割五分の減少を示せるのみなり

◎之れ畢竟大型船建造の增加と戰勝劣敗は數字上免れざる所にして戰時中資力の豐富ならざるにも係らず前後の思慮を缺きて造船事業を開始せしもの、閉鎖若くは休業の已むを得ざるに出でしものにて自業自得と云ふべきも尠からざる資本と勞力を投ぜし造船工場を全く廢滅に歸せしむるは遺憾の極みと云ふべく戰後に於ける世界各國の海運政策は官民共に多大の注視を拂ひ居れる折柄其復活に關しては大いに考慮するの必要あり

◎現在市內に於ける作業中の工場は省略して休業若くは全く閉鎖せし鐵船工場のみを示して事業家頂門の一針とせんに休業中のものは大阪造船分工場、大阪築港、旭、藤間、神戶棧橋第三分工場の五工場にて閉鎖工場は宮城、尾、堀田、木津川、宮內、松田、新堂、千歲、浪華、信貫、關西、吉備、仙波、大正、町田の十四工場なり

過軍露都支持

本據は莫斯科

最近の報道に依れば過激派軍は今や猶完全に露都を支持し居れるが如く逆襲に依りてガッチナ及びクラスノエ・セロを奪還したりとの報は未だ之を信ずる能はざるもガッチナ北東ツアスコエセロ方面に進軍すと言へるは或ば事實なる可し而してユデニッチ軍は露都よりヴイデビック、莫斯科、ヴルグタに至る鐵道を切斷せんと企てたるも未だ之を遂行するに至らずして戰ひ利あらず退却の已むなきに至りたるが此形勢は依然繼續するものと見る可く海上より

英國艦隊 の援助を得てクロンスタットを完全に領有するにあらざれば露都の陷落は到底見込無しとの觀測有力なるも、如し然るに英國艦隊はクロンスタットを砲擊して却つて陸上砲臺の爲に擊退されたりと傳へらる但し英國は右の報道に關し何等知る所無き旨を發表し居れる由なるが過激派政府は露都の包圍が到底免れ難き運命なるを覺悟し機關銃を備へ付又食料品を準備したるも敵にして砲擊を見合す可き保證を與ふるに於ては敢て抵抗せず露都を引渡すの意ありと傳へられ勞働代表者はユデニッチ將軍に對し

露都砲擊 の中止を請ひたりと言ひ兵火の慘害を免れしめむ事に努め居れるが如し過激派の根據地は莫斯科にして露都の陷落は過激派の爲め多大の打擊たるには相違なけれども敢て致命傷とは言ふ可からずユデニッチ將軍は帝政復興派に屬する人物中勝利の目算充分にして露都占領の際は食料の供給に關し米國へ懇請する所あり重要なる諸地點を陷れて一舉露都に肉薄したるの觀あり其前進を企圖するに當り先づ一隊の輕兵を遣り一日廿哩の速力を以て行軍し露都の前面一日程の地點に達したるが後方よりの輜重續かず過激派軍の爲め忽ち其前進阻止されたるは又已むを得ざる所なり尙兵力の上より見るもユデニッチ軍は一萬二千を出でざるに過激派軍は二萬以上を有し且莫斯科よりの來援あり最後の戰線を支持して

逆襲に出 でたる結果ユデニッチ軍を擊退し以て露都の危急を免れしめたりユデニッチ軍の敗因は餘りに進擊を急ぎし爲なること前記の如くなるが其他四圍の狀勢より察するに獨力を以て露都を其掌中に收めむこと甚だ困難なるは又否定し難き所なる可し過軍亦敢て優勢なりとは言ふ能はず英軍のアルハングリスク撤退後と雖も北方に進出するの勇氣なく波蘭軍の爲に壓迫せられて悲境に陷り獨軍と提携を圖りたるの形跡あり、然れども獨逸は將來露國の支配權を得むと欲するの野心ありて露都を陷れ自ら露國の救濟者を以て任ずるの日あらむことを期し居れるが如く又バルチック諸邦を復活の露國に歸屬せしむ可く寧ろ過激派を露國より掃蕩せんとするの意ありクルーランドの獨軍は容易に

撤退せず 露軍に合し或は歸化して土地を附與さるゝに至りしとも傳へらる此事未だ必ずしも眞なりとはいふ能はざるも以て獨逸が戰後に於ける海外發展の企圖那邊に存するかを推するに足る可し尙ほ南露方面の形勢を見るにツアーリツインよりキエフに至る七百哩の戰線に於て激戰行はれ高加索軍はツアーリツイン西北五十哩の地點に於て多大の勝利を得ドン軍はヴオーリノオ、ノウチグラ、シスネフカ等の諸要地を占領せりと傳へらる過激派軍は襲にキエフを奪還したるも既に再び之を放棄して郊外に敗走しクオベル河西方に於て哥薩克兵の前進に依りて尠からざる損害を受ドン河

一帶の地 は今や全く過激派軍の一兵をも留めざる有樣となりたり斯てデニキン將軍は哥薩克兵を主力とする保守派軍と協力し莫斯科に向ひ以て過激派の根據を衝かむとするの行動に出でつゝあり然れども敵同の戰鬪に兵疲れて損害亦少しとせず進出必ずしも意の如くなる能はざるものありユデニッチ軍の狀勢亦前述の如くなるを以て徹底的に過激派を討伐し得るの希望は明春解雪の期に入らざれば到底之れを達成するの機會無かるべし

滿洲大豆減收

滿洲大豆は播種當時より六月頃まで降雨順調にして發育良好なりしかば一般豐作を豫想されたるも夏期の旱魃甚だしく平年作に比し二三割減の狀態にて滿洲全體の出廻り高は平均約百七八十萬噸と稱せられ昨年は二割五分の增收なりし爲二百卅萬噸を算したるも本年は二割內外の減收乃ち百四五十萬噸ならんと

故寺內伯燒香式

前總督寺內伯葬儀に付京城在住の主なる官民打集まり來る七日午後二時より步兵隊司令部構內にて燒香式を擧行する筈

滿鐵增資に就て

出資物と朝鮮鐵道

鐵道部當局者談

滿鐵增資に對する政府の出資物として朝鮮鐵道を提供せんとの議に就て總督府鐵道部當局者は語りて曰く滿鐵が今後滿蒙方面に於ける事業に對し積極的施設を行はんが爲めには尠くも十數億の投資を爲さゞる可からざる狀態にて此の資金を得んが爲め滿鐵として採る可き方針は

社債を起す か又は增資を行ふかの二途の一に出ざる可からず然るに社債は法律の限定に依り起債殘額總額を超過せず到底所期の資金を得る事困難なり然も法律の改正に依り起債額を增加し得ざるに非ざるも社債は時の市場の關係に依りて募集に困難あり又滿鐵の如く殆ど無期間なる資金の固定を爲さんとする事業に於いて社債の如き償還期間附の資金を以て行ふは決して策の得たるものに非ず結局增資を行ふ事となり滿鐵幹部は右の意嚮を政府筋に通じたり然るに滿鐵は特殊會社にして

國家的事業 を行ふ可き使命を有し從て議決權の關係より增資總額に對し半額は政府出資とせざる可からざる事情あるに來年度豫算の關係は現金を以て政府の持株に對する出資を果す事は殆ど至難の事にして他に適當の出資物を物色せんとするも既に滿洲に於ける滿山其他の利權は全部之を所分し遂に目下滿鐵の委任經理下にある朝鮮鐵道を以て之に引當てんとするの議起りたるが如し勿論總督府として今日迄此事に就き公然交渉を受けたる事なきも元來鐵道行政の事たる朝鮮

今後の統治 上最も重要なる一部を爲すものにして之を總督府の所有より引離すが如きは不合理の甚だしきものにして假令同じく國家的事業を營み現今の如く優秀なる滿鐵幹部の經營に委ぬると雖朝鮮の利害と其休戚を同じふする總督府の政策と併行せしむ可くも非ず又一般民間の利害より考察するも經濟狀態其他に於て相異ある滿洲を本として律せらるゝ如きは甚だしき不利益と云はざる可からず現今勃興しつゝある私設鐵道の如き本線を中心として經營せんとするもの、如き必ずしも有利なる歸結に到達するや

否やは疑問 とせざる可からず故を以て總督府としては朝鮮鐵道出資には贊する能はず總督は當初より決定せるものにして中央政府としても總督府の意嚮を無視するが如きはあり得べからざる事なり云々尙朝鮮鐵道の投資額は約一億六千萬圓なりと

殖鐵社長

果して何人!!松平子に內定!!小原氏の運動

資本金一千萬圓の西鮮殖産鐵道は黃海道の富源開發と東拓三菱を主力とする關係上事業の前途を囑目され居れるが拂込み期の切迫創立總會の近接等は自然同社の

社長に何人 を推すべきかが問題となり內部に諸種の經緯曲折ある如く消息通の間に興味を惹き居れり聞く所によれば當初東拓側にては社長に賀

田直治氏 を推さんとする意志あり三菱側は **山本悌次郞氏** を選出する意向なりしも賀田氏は現に朝鮮皮革東洋畜産の兩會社に社長としてその經營に當り自ら當分他會社に入るを好まずと稱し居れる等の事情上固辭したりと信ずべき根據あり 旁人格手腕に於て不足なきも氏の社長說は立消へとなり半取締役として關係する事に落着せし如く山本悌次郞氏はその內地に於て關係せる事業の事情上殖鐵社長を不適任なりとし氏亦辭退せる模樣にて結局他に之を求むる事となりしも三菱は

自家系統 より社長を出すを好まず、旁創立委員長東拓京城駐在理事 **松平直平子** の蹶起を餘儀なくするに至り子は止むを得ずとして社長就任の承諾をなすに至れり然るに最近に至り農商工部長官を退いて歸東したる **小原新三氏** が某有力系を通じて殖鐵社長就任の運動を行ふに至り小原氏は頗る熱心なりとの事なるも京城に於ける大株主中に發起人側の多くは氏の手腕を別とし昨今京城を退きたるのみの前官吏を社長たらしむるを喜ばず目下の所小原氏の社長說は多數株主の一致を見る事困難の事情にある如し唯氏の推薦者が同社に關係深き巨頭につき該巨頭の胸中如何によりて形勢の逆轉を保し難きも然も標準の

當選は困難 ならん但し小原氏亦強て出馬を欲するにあらざるべしとの觀測もあり尙ほ專務取締役には同社の創立當時より關係せる東拓參事 **西島新藏氏** に決定せる事は既報の如し

殖鐵株拂込

朝鮮殖産鐵道創立事務所にては三日までに第一回株式拂込を了したるがその第一回拂込みは來る八日より十一日までなり又殘餘株の拂込は五日限りにて同日拂込まざれば棄權者と見做し處分すべし

幹部演習視察

步兵第三十九旅團幹部演習は愈々六日龍山步兵第七十九聯隊に集合し戶川旅團長統裁の下に出發京畿道に於て實施に決定したるを以て淨法寺師團長は幕僚を從へ九日十日の二日間狀況を視察すべく又軍司令部よりは平松參謀出張視察すべしと

七十八聯隊行事

步兵第七十八聯隊にては三日除操の檢閱を實施したるが四日引續き劍術の檢閱を實施し更に六日刺突檢閱七日特別射擊を行ひ十二十三の兩日は富平に於て檢閱射擊を實施すべしと

人事消息

▲津田鍛雄氏(實業家)朝鮮森林鐵道發起人會に列席のため五日午后七時五十分發列車にて東上
▲藤村幸一氏(久原鑛業會社技師)四日夜入城天眞樓へ
▲西原龜太郞氏(久原鑛業會社技師)四日夜入城同上
▲大橋多吉氏(大倉組鑛業技師)四日夜入城同上
▲小栗快助氏(神戶小栗會社長)四日夜入城同上
▲本田幸介博士 四日夜釜山發連絡船にて東上(釜山特電)
▲佐々木慶南知事、趙忠北知事、工藤總督府事務官、三增馬山府尹等は寺內伯葬儀列席の爲め四日夜發連絡船にて東上せり(釜山特電)
▲向阪殖三郞氏(水原勸業模範場技師)四日夜十一時發列車にて歸任(釜山特電)

鳥瞰錄

三日步兵隊構內で執行せられた故明石大將哀悼式に出陳してあつた遺物中何と云つても書畫が過大を占めて居た▲就中諸人の垂涎を禁じ得なかつたのは故乃木將軍の書で明石將軍が乃木將軍から貰ひ受けたのを松村重治君に記念に讓つたものであつた▲乃木將軍の筆蹟も見事であるが其の裡面に明石將軍が貰ひ受けたことから松村君に讓つた與詳がある▲つまり一幅で軍神の筆蹟と明石將軍の筆蹟を兼併したもので洵に珍品たるを失はぬ▲其他將軍の書畫の隨筆は寧ろ放蕩落才氣煥發の例の氣質の人であつたから痛快な諷刺ものが頗る多かつた▲例へば一人の男が破れた大風呂敷を擴げて地球儀を包まんとして居る畫などは當時の內閣首相の大風呂敷を諷したもので▲又一人が釣を垂れ他の一人は山に對して座して居る處は當時の內閣首相の對支外交の拙劣を痛罵したものだ▲其から一人の男が坐つて今一人がテコで押ゑて居るが坐つた男はビクともせず屁を吹かせて居るなどは當時の首相が四方八方の攻擊に拘らず頑として內閣を辭さなかつた横着を冷かしたものである▲其他此の種のものは却々多く頗る興味があつたが就中途に其意味を解する能はず問題になつたのは權藤四郎介君の出品であつた▲其は遙に月下に城廓を望き茅原に一人の亂髮した女が左に血に塗れた小刀を携へ右手に鮮血滴る首級を提げて居る畫で▲之れに題した詩が何でも斯うである『不俱戴天七世仇。十年遂恨始得酬。滿腔熱血忽然冷。明月吹撒故國秋』▲何うも此の謎だけは解けぬ或は謎でないかも知れぬ將軍の靈定めて地下で笑つて居るのだらう

燒ケ岳噴煙 [illegible]

自動車時刻變更 [illegible]

東京現株 [illegible]

大阪株式 [illegible]

下關期米特電 [illegible]

東京株式特電 [illegible]

仁川期米 [illegible]

左官建築材料

セメント 石灰
左官材料一式
各種色土砂
各種 布海苔 苧苆
瓦各種塗料用品 左官用東京鏝
各種建築材料種々
火山灰 硅藻土
各種耐火煉瓦
各種煉瓦 土管 瓦
防水劑 パドロー ダンタルス
鑄工製鐵所用品
小野田セメント會社平壤支社製 石灰特約販賣
京城瓦斯電氣株式會社製 瓦斯コークス コールタール 特約販賣
九州火山灰株式會社 代理店
京城旭町一丁目 電話長九八四番 振替六〇八六番
卸商 戶澤商店

◆京城名物◆

金剛饅頭

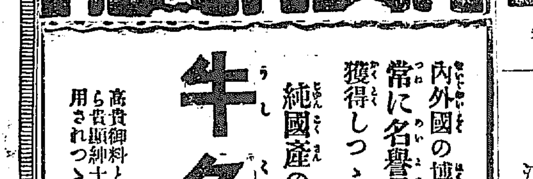
京城本町 龜屋 電話二四七五七番

醬油値上廣告

謹啓向寒の砌各位益々御清榮の段奉慶賀候陳者其後引續き原料の騰貴は底止する處を知らず加ふるに容器工賃等又暴騰を告げ不得已拾壹月五日より左記之通り値上實行仕候間何卒倍舊御引立の程奉懇願候

一大樽(參斗六升詰) 四圓五十錢上げ
一小樽(九升詰) 壹圓參拾錢上げ

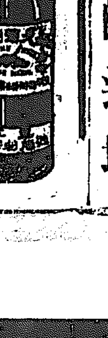
京城醬油釀造組合
仁川醬油釀造組合
大田醬油釀造組合
群山醬油釀造組合
平壤醬油釀造組合
鎭南浦醬油釀造組合
大邱醬油釀造組合
永登浦 大塚醬油釀造所
水原 水原醬油合資會社
江景 荒卷醬油釀造場



內外國の博覽會又は共進會に於て常に名譽最高金銀賞牌を獲得しつゝある純國産の優等生葡萄酒は

牛久 赤白 葡萄酒 である!!

高貴御料として專ら貴顯紳士間に愛用されつゝあり



本品は茨城縣牛久神谷葡萄園に移植せる佛國種優良生葡萄の實より搾取せる純正生葡萄酒にて品質の最も優秀なり且つ舶來品の如く運賃諸税等の爲め價格頗る低廉なり

東京本町 株式會社 近藤利兵衛

健腦丸 腦病良藥 KENNOGWAN

敏活なる事務家……は常に腦病良藥 健腦丸を持藥とす

每に腦を過勞する人、腦の惡しき人
腦神經衰弱の人、速かに試みよ!!

主効: 腦充血 神經痛 頭痛 眩暈 腦膜炎 神經衰弱 耳鳴 健忘 逆上症 卒中 中風 便秘

特長: 逆上を引下げ、便通をよくし怖るべき中風卒中を未發に防ぎ腦充血を快治し記憶力を增進す。

(頒價)半週分四拾錢より十週分五圓迄全國各藥店に有り

本舖 大阪 東京 丹平商會

國境横斷旅行(三)

鍾城から惠山鎭へ

『延岩から天へ二里半で日本で一番雲に近い處』と内鮮筏夫が云うて居る

四邊の山に炯々と燃上る篝火！農民山中に徹夜して猛獸を逐ふ

延岩にて 特派員 伊藤韓堂

內地から筏夫が延岩に着くのは大抵四月末か五月初めであるが此の地方は每年

五月末迄雪が 降るので彼等は『內地で一冬を濟まして來て又朝鮮で冬を迎へます。私達は一年に二度の冬を過ごすのです』と語つて居る。今年も七月十三日に晩霜を見て九月十日に初霜の降つた延岩の冬は隨分寒いことであらう。筏夫は『此處は日本中で一番雲に近い處と思ひます』と語る海拔五千尺に近い此の地は成る程雲に近いと云はねばなるまい。又或る鮮人は『此處から

天へは二里半 しか無いさうです から寒い筈です』と眞面目腐つて語るのであつた。『雲に近い部落』は未だ聞ゆるが『天へ二里半』には驚かざるを得ぬ。一體誰れが測量したのかと聞いて見ると『大方先年土地調査の人達が測つたのでせう……』と平氣で答へて居つた。春と秋と夏の期間が馬鹿に短うて、冬の長い土地だから——地盤が高くて天に近い——が何時の間にか斷定的の『天へは二里半』說を生んだものと思はれる。此の土地の人に對して

延岩の名物は 何かと言ふと木材を除いたら毛皮類であらうとのことだ。牛よりも大きい老鹿が何う狼狽たものか能く延岩の街に巨體を現はして人夫等に捕殺される位だから獸は仲々多いだらう。駐在所長の渡邊さんも『最初はソンな馬鹿なことがあるものか、と信じなかつたが老鹿の撲殺を目擊するに至つて始めて事實なるを知つた』と語つて居つた。山の中とは云ひながら時々大きな圖體を現出して

撲殺される鹿 も愚かな奴だ或る人が『馬に似て更に大きく、而も愚かだから之れが本當の馬鹿でせう』と洒落て居つた。黑山羊、麋鹿、熊も多いが近年却々高く成つたさうだ。此の夜、鮮人が『ホー、ホー』と叫ぶ聲が耳に這入つて來た。何事かと外に出て見ると高い四邊の山々の頂きや中腹には

篝火が焔々と 燃へ上がつて數年前の山火事に梢を燒き拂はれた附近の空林が或は明かに、或は幽かに映出されて其篝火の焔の搖ぎに伴れて遠近の山々から『ホーホー』と呼ぶ聲が流れて來る。合點の行かぬ光景に不審を抱いて暫くして見ると、是れは山を開いて耕作した畑に燕麥が穗を垂る、頃となると食に飢へた熊や猪が夜陰に乘じて燕麥を食ひに來る。殊に猪の如きは數十頭の大群を爲して來て少々の畑は一晩の內に食ひ盡して了ふ

熊は畑に坐込 んで悠然兩趾を擴げて燕麥を抱き寄せ、ガフリ、ガフリと穗先だけ食つては其の儘ズルリと前方に辷り寄つて又も抱き寄せては食ふさうである。乃で畑に簡易な窩栖小屋を建てて焚火をして猛獸の接近を避けホー、ホーと逐うのであるが猪は大群をなして來て東から逐へば西に廻り西から退へば東から食ひ、逐ひつ逐はれつする裡につい畑の半分位は食はれて了ふことがある。時に猪は人を逆襲して來るさうである。一口に簡單に云へば人と猛獸との生存競走で、燕麥といふ食物を爭ふ鬪爭である。鮮人は此の山中の逐ふ小屋を

山中幕と稱し て居るが熊は燕麥のみならず馬鈴薯まで堀つて食ふので熊狩りは此の燕麥時期に限るから獵師と耕作主と約束して熊狩をするのであるが今年は鮮人獵師の銃器を憲兵隊に任意預置して下渡された者は極僅少である爲めに一層猛獸の跳梁が劇しいのである。

大磯から東京へ

寺內伯の遺骸還る

壽一大佐は元帥刀を捧げて自動車に同乘

寺內伯の遺骸は三日午後七時大磯別邸出發危篤の儀藏布本邸に搬ぶこととなり六時半本邸より差廻したる自動車大觀山の閣を縫うて別邸玄關に來すれば黑羽二重紋服に著替へたる故伯の靈骸は兒玉伯、壽一大佐、竹屋子爵の手にて自動車に運ばれ赤き蒲團の上に安臥し壽一大佐は元帥刀を捧げて古山看護婦と共に之に同乘し藤田中佐、瀬羽少佐、荒木軍醫正、光永副官等の自動車を隨へ宵闇の東海道を大磯市民の見送りを受けつゝ發地に駛れり(東京特電)

本邸著

近親の人々肅かに通夜

三日午後十時伯の遺骸を乘せたる自動車は本邸に到著し田中陸相、田健次郎總督、元田政友會總務等多數の人々に迎へられ直ちに階下十疊敷の日本間に白羽二重の床上に遺骸を安置し伯遺愛の一軸を懸けたる床の間には元帥刀を飾り白木の三寶に菊花大綬章を置き枕頭に金屏を廻らし香煙縷々として立ち繞る邊に近親の人々いと肅かに通夜した

寺內伯切手になる

嚴格な半面に此優しさ

『百』になつた藝妓須磨子語る

寺內伯が生前最も寵愛した藝妓ハマ子を下關稻荷町の館に訪れて伯が逝去を傳へると『それは本常ですか』と吃驚し兩眼を潤ませしながら語る『私は兒玉さんが生きて居られた頃から大層贔負にして頂いて居りまして朝鮮總督になられてからも往復には必つと春帆樓に呼んで下さつて色々お話相手になつて居りましたがお酒は葡萄酒を少量用ひられましたが近來は酒も葡萄酒も召上がらずパンを食サイダーを飲んで居られました何うかと申せば

氣六ケ敷 いお方でしたが御機嫌の好い時には始終ニコニコしながら極碎けたお話をなさることもありました。是はよくお話になることですが京都の藝妓におさださんと云ふのがありました此の人も兒玉さんに大變贔負になつて居られたので寺內さんが春帆樓に來られた時其お話をすると寺內さんは『お前とおさだは姉妹だから仲よくせよ』と仰被つてつまらぬ

私の手紙 を京都のおさださんに届けて下さいましたが其の時僅か三錢の郵便の代りをしてやると仰被つたことを思ふと忘れることが出來ません何だか濟まない樣な氣がしてなりません』云々(下關電報)

葬儀は來る七日と決定

委員長は長谷川元帥

寺內伯の葬儀は七日午後一時增上寺にて行はるべし葬儀委員は目下銓衡中なるが陸海軍大臣幹事となり長谷川元帥委員長たるべし(東京特電)

眠るが如く安かに

伯の臨終＝竹屋子爵の談

寺內伯の臨終に就き竹屋子爵は『私は急電に由り馳著け辛ふじて臨終に間に合つた、平井院長のカンフル注射も効なく全く絶望に陷るや院長は小聲で臨終の時が參りましたと云つたので伯夫人は先づ手に箸を取り綿に水を含ませて伯の口を濕らした、

其時微に 目を開かれた儘伯は之れを受けられた、次いで壽一大佐、鈴雄中尉、兒玉伯夫人兒玉伯等順次に、一同涙の中に之を終つた時は、伯は最早何等の感覺もなく其儘冷たくなつて居られた、たき子夫人は此の前危篤に陷られた時伯に面會された丈で今日迄

別室に閉 ぢ籠つて居られたのだが今朝(三日)は無か甘り如何したのか是非遣はして見れと幾度も言はれたので、やつと壽一大佐も之に贊成し今朝九時頃遣はれた、伯は其時はまだ息があつたので頷かれた壽一大佐も鈴雄中尉も四日から演習に往かる筈であつたのを平井院長の勸告で延期された

唯だ一つ 遺憾なのは伯の病中に實弟の病氣の事も知らさず一昨日亡くなられた事すら耳に入れなかつた事である』と語り愁然たり(東京特電)

是れ一種の社會劇

暴露した家主氣質

府內笠井町二十番地金在賢は同町百五十八番地趙成鎬から現在の家屋を一箇月の家賃四十圓宛の約束で借家して居たが最近同二十九日突然家主趙來り都合あれば家屋を明渡し呉との申込あつたが格別氣にもとめず其儘打過ぎた翌三十日荷車二臺に家財を滿載して新借家人と稱する俞昌魯といふ者が引越し來たつたので金在賢は立腹する金方の店員五六人は袋叩にも仕かねまじき氣色で騷立つ始末に面喰つた俞昌魯は斯うした筈ではなかつたと黄金町四丁目派出所へ保護を願出たので係官が取調べると家主趙が四十圓の家賃が四十五圓に借せると云ふに眼が眩んで此始末を惹起したのと判り示談せよと懇々說諭されて引取つたが此頃の家主氣質の一面を現した嘔しのやうな事である

伊國文豪の大飛行

愈々近く實現

朝鮮著は來る十五日頃 龍山練兵場に著陸 官民大々的に歡迎せん

伊太利詩聖ダヌンチオ氏の企畫に係る東京羅馬間大飛行は愈々決行さるゝ事に決定し朝鮮來航は來る十五日頃伊國飛行隊附大佐ロカテリー氏操縦の下に來著すべきに依り義州には伊國航空隊附大尉パオルッチ中兵卒二名と共に釜山には同隊附中尉エスポジト氏夫々準備の爲來鮮すべきが京城著陸の際は龍山練兵場に決定すべし而して總督府並に軍司令部にては大いにこの壯舉を賛し大々的歡迎を爲すべく近く各關係者打寄り歡迎方法其の他に就き協議する筈なり

本紙愛讀者優待

今晩から『五九郎』劇割引

黄金館へ、黄金館へ

目下黄金館に於て開演中の曾我廼家五九郎一座は所謂喜劇界の名物として例の五郎、十郎と並び稱せらるゝ丈あつて他の企て及ばざる獨特の趣風、清新なる

演出法 に毎夜湧くが如き好評を博して居る、本社は此機會に於て愛讀者優待の微衷を表する爲め特に同一座と交渉し多大の犧牲を拋つて普通入場料特等二圓五十錢▲一等一圓七十錢▲二等一圓二十錢▲三等七十錢の處を本紙及び每日申報愛讀者に限り特に特等二圓▲一等壹圓二十錢▲二等七十錢▲三等四十錢で觀覽し得らるゝ事とした、五十錢乃至三十錢の割引は額に於て甚だ

僅少で 充分愛讀者諸君の滿足を買ふ事は出來ないが幸ひ本社の微衷を諒とせられ同一座開演中はドシ〱觀覽せられむ事を願つて置く。

其の面白味

お臍御用心

五九郎の喜劇は唯笑はせる許りでなく、現代世相の暗黑面を極めて深刻に描寫して居るから面白い裡にも自然に

熱い涙 を催させる、然も野卑に亘らず低級に流れず、全く高尚で肩の凝らない所が長所であるが更に今日からは本紙愛讀者の爲と云ふので特に脚本を選擇し、五九郎十八番の篩入狂言を上場すると云ふから其面白さは又格別、如何に鹿爪らしく納まつた人でも思はず知らず

腹の皮 を撚らすであらう、時正に秋、暑くなく寒くない一年中の最好季である、親子兄弟夫婦など一家族打揃ふて折柄の良辰を面白可笑く暮すのは如何に愉快な事であらう、紳士も淑女も老人も子供も黄金館へ〱。

朝鮮情話 戀の李文姬(一)

波瀾重疊たる半生涯

水草の如く流轉して

騎兵將校の姿

—一房の隙に小さく堅く—

それは滿洲各地到る處屍山血河の慘劇が演ぜられた日露戰役が濟んで間もない時であつた。朝鮮には各地に守備隊が殘留された。騎兵隊の一部も駐屯してゐた。

その頃李文姬は十六の春を迎へた。

或る日彼女は彼女の無聊の家を繞る猫柳が漸く綠を添へて、囀る鳥の聲もおのづから人の睡氣を誘ふ晝時、一室に閉ぢ籠つて『謝氏南征記』を繙いてゐたがそれにも倦んで、坐ろ心に戶外に出た。

春の光が滿ち溢る、門川には村の婦人達が衣を頻りと叩いては洗いでゐた。土塀の上に柔かく燃ゆる陽炎を背にして、ポプラを眺めながら何か小聲で唄つてゐた。淡紅色の上衣に純白な袴を穿いた彼女の姿は宛ら繪から拔け出たやうで、道ゆく男を幾度び振り返らしめた。

『李文姬さん、あの男も貴嬢に秋波を送つて行つたよ』

と衣洗ぐ年增女は茶色の齒を上げて、白い齒を見せた。李文姬は颯と顏を赧めたが、物をも云はずくるりと背を向けて、彼女の門の一本の杏の花散る風情を物惱ましい瞳して眺めてゐた。

此の時、遙くから馬蹄の響が聞こゆると思ふ間もなく、柳を縫ふて馬上の軍人姿が見はれた。

前頭の襟章でも騎兵科と知られる中尉で、栗毛の駒の手綱を取つた姿は颯爽として肩章の星がきら〱光る。

女達は、其の將校の姿を見ると顏色を變へてつと立ち上がつた。

『あれ日本人が來た！』

『騎兵だ！』

と口々に叫びながら、あたふたと洗濯物を抱へて、各自の家に逃れ去つた。李文姬も靑い小靴に靑草を踏んで急いで家に隱れたが、何故か後に心が引かれるやうに思はれて、障子の隙から戶外を窺ツてゐた。

北の騎兵士官は驟てうす紫によどむ小川に駒を入れて、馬に水を飼してゐた。きりッと締つた顏、色艷の好い頰、すらりとした姿、紅の帽も長く光る軍刀も、將た又栗毛の駒も、背景の春の野も、總てが騎兵將校の威容に美しさを添へるがやうであつた。

李文姬は障子の隙から飽かず眺めてゐた。男らしい男！雄々しい服裝！とふと思ふと、何故かは知らず心はときめいて、頰のほてりを覺ゆるのであつた。

鶯の鳴く音も遠く夢の國、幻の里から流れて來るやうで春の晝の靜けさ。

馬に水を飲ませ終つた騎兵將校は驟て李文姬の門前に駒を止めるなり、ひらりと降りた。佩劍と拍車と相搏つて戛と鳴つた時、李文姬の小さな胸はどんなにか躍つたであらう。

李文姬は突然立つて奧の一房に走つた。家人は皆出て誰もゐない。若しあの日本の軍人が這入つて來たらどう仕やうと恐ろしさと羞かしさに李文姬は慄ひながら、一房の片隅に小さく堅く蹲まつてゐた。胸の動悸は早鐘を撞くやうである。

こと〱と戶が鳴つた。」

五九郎一座の花形

(上段右より)木村光子、東花枝、中村高代(下段右より)中村梶子、楠郁代、木下貞子

今晩の出物

五九郎一座が本紙愛讀者の爲に本日特に上場する狂言は左の通りである。狂言は毎夜替はる筈

(一)笑劇 小町櫻 二場

(二)喜劇 田舍から 二場

(三)社會劇 竹取物語 一場

(四)喜劇 青蠅質 二場

花環贈呈

五九郎一座へ

本社は五九郎一座の開演中、其の舞臺に一層の花を添へんが爲め本日、美麗なる花環一個を贈呈する筈。

黄金館開演中

喜劇界の名物(一枚二人通用) 五九郎一座

京日讀者優待券

	普通入場料	割引入場料
特等	二圓五十錢	二圓
一等	一圓七十錢	一圓二十錢
二等	一圓二十錢	七十錢
三等	七十錢	四十錢

京城日報社

將棋競技會

來る九日正午より 溝呂木將棋所にて

本社囑託六段溝呂木光治氏主催にて秋季將棋競技會を來る九日(第二日曜日)正午より黄金町三丁目二百二十五番地溝呂木將棋所に於て開催の筈なるが當日の競技優勝者には一等より十等迄賞品を附する由にて會費は金二圓晩餐を饗すと

同情

本紙所載『眞に人世の悲慘事』と題せし宮川萬藏氏の遺族に同情し南大門驛一驛員氏より左の奇特なる書状を添へ金一圓寄贈傳達方を本社に依賴し來れり

前略師路小學校宮川氏御家族の不幸實に氣の毒に存じ同情に堪へず候も何分日給取の非教手元不如意の爲心痛致し居り候折柄幸に三十一日天長節に際し本社より酒肴料として金壹圓頂き申候間小生すまして御家族に御送り申度く候得共一面識もなき方に小生より差出すは失禮に候間甚だ御面倒ながら何卒宜敷御取計被下され度御願申上候此の事は決して紙上に記載せざる樣固く御斷申候

◯社友會圍碁納會

龍山滿鐵社友會にては來る九日午後一時より社友會々場に於て本年最終の圍碁例會を催す由

優待券持參

必ず忘れぬやう

五九郎一座觀覽の讀者諸君は必ず本紙刷込の『讀者優待券』を切り拔き御持參の事、興行中は一枚に付二人迄通用します、是れは一面本紙の愛讀者たる事を證明するものであるから是非お忘れなきやう。

蓄犬檢査

本町署管內

本町署にては府廳係員立合の上左記日割を以て畜犬檢査を爲す由但し雨天の際は順延檢査は午前十時より開始の筈

▲十一月五日新町、本町五丁目、並木町、東四軒町、西四軒町、黄金町六七丁目、光熙町一二丁目▲六日本町四丁目、櫻井町一二丁目、大和町一二三丁目▲七日永樂町二丁目、若草町、本町三丁目、倭城臺、日の出町、旭町、南山町三丁目▲八日本町一二丁目、南山町一二丁目、旭町二三丁目、明治町一二丁目、永樂町一丁目、南大門通五丁目、御成町、蓬萊町一丁目、南大門通四丁目、南米倉町、南大門通三丁目、旭町一丁目、南大門通四丁目▲十日南山町▲十一日吉野町一二丁目、古市町▲十二日和泉町、義州通一二丁目、蛤洞、漢芹洞、中村洞、蓬萊町二三四丁目、西界洞▲十三日長谷川町、北米倉町、太平通一二丁目、西小門町、武橋町、貞洞、黄金町一丁目一部▲十四日水標町、笠井町、黄金町二丁目及三丁目一部、三角町、水下町、長橋町、南大門通一丁目、黄金町一二丁目一部▲十五日黄金町四丁目及三丁目一部、休町、舟橋町、花園町、初音町、芳山町、黄金町五丁目

[illegible] 正午十二時 午後四時半 同 午後十二時半 同 五時 東亞 [illegible] 四九〇〇 一三〇五〇 六〇安 寄付 四五七一 四日後場 正米變らず 高値 安値 止め 四五六四 四六七 四六〇〇 四五八四 四六二 取引高 [illegible]

純舶來製 金側代用腕時計 特賣

本品は實用兼備優美を兼備する瑞西國製12形流行新型腕卷時計にて金と同色の金光澤を有し器械は本舶來品なる故振止くの要なし 年保證附 輸入特價 九圓五拾錢 ●別 アンクル付夜光文字入拾圓 品は夜光故暗夜でも時間見へる 小形婦人用文腕卷 前金送料不要 郵券一割增 大阪府 振替大阪一六一九 日野時計店

精米業、質屋業 穀糠、朝鮮古郵券賣買 京城府本町四丁目 佐野仁作商店 電話一四九二番

京日案內 一回前金 一行 七十錢 ▲申込後中途掲載中止は料金不返却 ▲六回以上の申込は特に割引の事 ▲照會は返信附に非ざれば回答せず

▲電話と勸業債券買入 光化門通 坂本 電話六八〇番

內地人 給仕小使募集 希望者は自筆履歴書携帶直接本人來談せられたし 東洋拓殖株式會社京城支店

鞄 行李 革 專門 一報次第店員參上可仕候 京城本町二 電話二四八 タジマヤ

女給募集 十六歲以上二十六歲迄希望者は御來談あれ 京城 音樂館

募集 手代(五十歲以上) 小僧(十五六以上)五名 京城本町二 電話一九六五 大橋商店

時計職工入用 手當優遇 希望者は本人來談又は文通 京城南大門通り三丁目 明時堂時計店

看護婦及見習 要急入用 仁川 佐藤病院

給仕採用 年齡十七歲以下 希望者直接本人來談ありたし 長谷川町 土木建築

女事務員 及紙業に經驗ある店員 但し算筆に長じたる者自筆履歴書携帶來談あれ 京城長谷川町 近澤洋紙店

家傳 骨つぎ專門 (原籍佐賀縣神埼郡神埼) 京城本町四ノ參一 小柳治療所

毛皮なめし 並に仕立 鳥獸剝製標本調製 鳥類手羽買入 毛皮貿易商 京城本町二 電話長二〇六五番 勝元商行

古ミシン高價買入 電話又ハガキ御一報次第參上 京城鍾路二ノ二七 電話一三三八番 楠商店

藥劑師に雇被度し 業務に充分經驗あり 獨身(姓名在社)

㊂濁酒賣出し 開業十週年の祝意を表し濁酒と共に特別勉強可仕候 龍山(電話三〇三) 丸三酒場

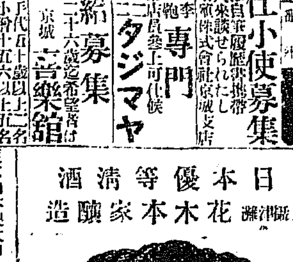
致富成功 資本十圓 ▲致富大成功の秘訣は株式投資に限る

神經衰弱 生殖器病患者に急告 藥價十四圓三圓 東京神田三崎町二丁目一番地 陽春堂藥院

カスミ網 捕雀用極上等網 吉備商會網部

建築設計製圖 △諸材料暴騰の際經濟的建築をなさんとせば是非弊所へ御相談を要す 京城旭町一ノ一七二 相澤工務所 電話一四六五番

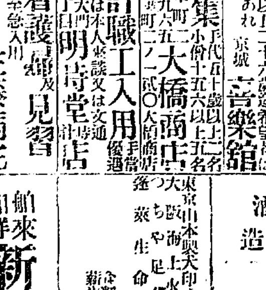
日本優等清酒 灘 花木本家醸造



フクムスメ 特約販賣 京城 島屋本店販賣部

東京山本與大印インキ石版活版機械及石 大阪海上火災保險株式會社 京城代理店 商 今藤富國太郎商店 京城本町三丁目 電話二〇八 二九〇二番

舶來 和洋 新ストーブ着荷



レナイ盤五尺 送風機磯七吋 卷上ポンプ 諸機械各種 持合せ有升 和洋古ストーブ在庫品豐富 及附屬品あり 京城北米倉町一〇〇 有好佐介商店 電話一五四六番

資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千六百貳拾萬圓 總預金 參億五千萬圓 株式會社 第一銀行京城支店 頭取 佐々木勇之助 支配人 竹村利三郎

夜の蜘蛛

江見水蔭

「十五」

『カルメン小糸が如何いふ事情で今日は此處に出勤しないのか、それを日立君は知つてゐると云ふのだね』と光さんの水上伯は問返した。

『それは伯爵、其位の事が私に分らない筈は有りません。今日は日曜日です。軈て特別の要顧(?)を受けてゐる客に連出されて、近郊を遊び廻つてゐるに相違無いんです。然ういふ時の扮装は何處で何苦面するものですか貴婦人宛如といふ姿に成るんでして……』と日立は得意に成つて辯じ立てた。

『その位の程度ならば敢て秘密通信社長を勞さないね』

『ねツ、何ですか』

『その連出した客が何人で有るか。それを君は知つて居るかね』

『其處までは未だ調べません』

『然が僕はそれを知つて居るのでね』

『ねツ貴郎がそれを？如何して知つてるます』

『僕は、つまり秘密探偵には大ずを有してゐるか知れないね。今日小糸を連出したのは、君も知つてゐる筈だ、倶樂部へは能く顔を出してゐる、田部谷明といふ、アク抜けのしない實業家ね、あの人だ』

『あツ、あの大布呂敷を擴げる、あの人ですか。や、妙々田部谷か小糸を引出したんですか』

『それが引出してから成功したと思ふかね。或は失敗に終つたと思ふかね』

『これは私にも直ちに判斷が出來ます。カルメン小糸から激烈なる打撃を受けて、つまり運動費損で……』

『無論然うだけれども、其猛打された程度が非常なもので、到底それは君の想像に及ばない。僕にも想像しろと云はれたら、猶且及ばない仲間なんだらうが、幸か不幸か僕は實地を見たので……』

『ねツ實地を御覧に成つたのですか』

『餘りに被害が甚だしい。悪辣に過ぎる。イヤ慘酷過ぎる。僕は全く田部谷大布呂敷氏に同情したので、直ぐ此處へ其足で立寄つたので、小糸の平常を取調べて、なんとか田部谷君の爲に復讐がしたい。イヤ、何も復讐を依頼された譯では無いけれど、僕の性格として、傍觀して居られ無いのでね。どうだね、君も仲間に成つて助太刀をして呉れないかね』

『然ういふ事なら、無論助太刀を致します。小糸が歸つて來るのを待受けて、大いに詰問をして……』

『いや、迚も小糸は此家へは、再び戻つて來まいと思ふ。當分何處かへ姿を隱すだらうと思はれるのでね』

『そんなに酷い事をしたのですか』

『實は斯ういふ事をしたので』

水上伯は今日の馬込道の珍活劇を、田部谷から聽いた通り、全部日立の耳に入れた。

『へゝ――』

日立の驚き樣と云つたら無かつた。

『どうだね。日立君、然ういふ譯だから、餘りに遣り口が悪辣過ぎるで、何とか我々で彼女に制裁を加へて遣らうでは無いか』

『大いに加へて遣りませう。それア實に怪しからんものです。然ういふ女は顔へペンキで毒婦を表象したマークを附けて、貨物自動車へ載せて、東京中を引廻すんですな』

『そんな事も出來なからうが……何とかして、根底から悔ひ悛めさせる樣にしなければ、腹の蟲が納まらない』

『本統です。人の事でも口惜しくつて成らない。や、今夜は大いに呑みます。酒の力で此憤慨を忘れなければ、遣り切れません』

『時に君は、食事の注文をしたのかね』

『あツ未だメニユーを持つて來ない。怪しからん女供だ。小糸ばかりが毒婦ぢや無い。此カフエーの女は皆んな性質が良く無いんです』

『いや、君が餘りに熱心に僕の話を聽いてゐたので、女中が注文取りに來ても、メニユーを提出する餘地が無かつたのだよ』

『何しろ呼ませう』

握り拳で卓をドシン／＼叩いた。

『はい……』

直傍で返辭が有つたので、吃驚した。其の筈だ。先から室内植物の蔭に、メニユーを手に持つて一人、女給仕が控へてゐたのだ。物馴ぬから前へ出そびれてゐたのだ。

人蔘キヤラメルは 富士製藥株式會社 ミルクチヨコレート

日報歌壇

哀傷篇

草野露彦(京城)

悲哀を抱きて東に旅立てる人へ

君はしも悲哀をもちて東路に行けりと聞けば哭のみし泣かゆ

烏羽玉の髪の亂れてかなしめる君をしぬべば涙わりなし

紅顔ふ君の嘆きを思ひつゝ日れもす夜すがら泣くべかりけり

髪だにもかき梳らず嘆ける君東にあると聞けば悲しき

闇夜なす思ひ抱ける君故に髪も梳らず(?)

らずさ今日も云へるが日は日れもす夜は夜もすがら泣くさふ君今は髪され亂れたりけり

咲けども爽處もなし君よ君さはな嘆きそ聽あらればしみの極みに韓びいづち泣く君をしぬべば涙はあふる

人のぬる夜も寢れがてみ君咲く(?)

さかの床は石床かあらむに母父の君はまなこぞ、けならべて咲けば如何に悲みにけむ

さにづらふ君はまなこぞ東路にましなば母父如何に淋しむか

天離る君はかなしき少女子よ一日こもれば東京し思ほゆ

君故に我は嘆くも異國の秋の深みて荚蓉の花咲く

はろ／＼に東の君をしぬびつゝ秋半ばなりさ云ひやうなくに

世の中の人嘆きを今は知りまことあはれ悲しき少女なるかも

夜の山上

玉虫吐糸子(仁川)

山の上は暮ろゝがまゝに靜もりつ港のごよみ聞ねて淋し

君と我かけ離れたる心もてベンチの上に默したるも

聞き給ふ事には我の云はずして猶める海を見てゐたりけり

いつ迄もいつ迄も猶默しつゝ君が指の煙草見てあり

君とあれば女と生れしうつそみの我悲し

(ゝ寄す)

男なれば我も君より强く云ひ袖を拂ひて歸らむものを

『何事も君が言葉に從はむ』ふと思ひ浮び身を戰けり

女なれば唯たんまりてあれと云ふ悲しき者になど生れけむ

女とは獸の如く育まれ獸の如く殺さるゝものか

久しくも沈默のうちにそと立ちて別の心に歸り路につく

對米貿易障碍 ……ひ得べき狀態に在り乍併此邊一方に偏し輸出品殆ど無く換言せば救濟策として最に上騰……は之を提供して株主となり銀行吸集し之を以て輸出代金を支拂……長引くに於ては自然米國内の不……
輸出炭は漸減 ……問題を惹起するに至るべきが今……

新刊紹介

▲日常の作法(長谷川喜勞子著) 知つて置くべき日常の作法を精細に記述したるものにて主從、親子、夫妻、師弟、交友等の部門に分ちて手を取る如く詳記したるもの、殊に表紙は布張りの上品なる書なり(一圓二十錢、東京神田駿河臺鈴木町一六佐藤出版部)

▲經濟資料(五の十) 西班牙國鐵道事情 亞米利加合衆國製鐵業概論 米國對支利權政策、海外總報其の他(二十五錢、東京麹町區有樂町一の南滿洲鐵道株式會社内東亞經濟局)

▲少女畫報(八の十一) 少女向きの可愛らしく面白く爲めになる記事多し(十五錢、東京京橋區疊町一東京社)

▲黑白(三ノ一) 硬軟兩樣の趣味ある記事多し(十五錢、東京京橋區築地三の一五其發行所)

▲農業世界(一四の一三) 農業雜誌中の白眉なるものにして低廉に且つ趣味ある記事多し(二十五錢、東京博文館)

▲陽明主義(六) 十錢、大阪北區中の島地洗心洞事務所

▲農業雜誌(一二一二) 十錢、東京麻布區木村町二一學農社

ホトトギス(二三の一) 風流懺法後日譚(虛子)寫生と俳句(日舟)劇評(鳴雪)俳句入門欄(普羅)俳談會(鳴雪、虛子)其角研究(鳴雪外五氏、其他閑笛小品文及び句作、殊に表紙の俳畫は極めて清新なり(三十六錢 東京牛込市谷船河原町一一其發行所)

▲國柱新聞(十月研究號) 活氣に富める日蓮主義の綜入通俗雜誌なり(十錢、東京上野鶯谷師子王文庫)

▲滿洲の金融機關と通貨(笠原博著) 複雜なる滿洲の通貨と金融機關とを說明したるものにて紙幣の寫眞版數葉あり滿洲の金融狀況を知るに最も便利なる書なり(二圓、大連信濃町三八滿蒙產業研究會)

▲新演藝(四の十二) 田中良氏表紙畫色刷スケツチ三色版二色版ハリ版寫眞アート寫眞版五十餘頁に亘る刷增ト劇界月狂言全部網羅せり讀物は觀客から劇場にといふ名士の感想を集め記事は一粒りの面白ものを集めたり東京芝公園玄文社

▲吾國勞働問題解決法(武藤山治著) 資本家たる著者の立場より公平に勞働問題を論究したる書にて議論凡て實際の見地に基づきて實業界の經濟に言及し之れが解決を論じたるもの(十錢、東京麹町區内幸町二の三ダイヤモンド社)

▲泣いて笑て五十年(長谷川鬪識著) 著者が既往五十年間に於ける經……

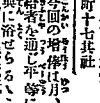
命親にして就中九星その他の迷信に向つ痛快なる說を吐きたるは出色なり、全篇七十五章何れも活世間の縮圖ならざるなく文章簡動にして多趣味なり(一圓五十錢、東京麻布宮村町國民精神雜誌)

▲文章倶樂部(四の十一) 文學雜誌として最も多趣味なる材料豐富なり(二十錢、東京牛込矢來町中の丸新潮社)

▲新國民(三十の一) 京京神田區駿河臺袋町一六大日本國民中學會

▲鐵道時報(一〇四九) 九錢五厘 東京市京橋區釆女町十七其社

牛乳 病院・カフエ・ミルクホール 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番



▲今回の增俸は月給者を通じ平等に恩典に浴せらるゝことゝ思ひの外判任六級が上つて五十圓以上の雇員等には何の影響がない、又七月任官した者が上つて昨年任官したものには何の沙汰がないのが吾知る中にも二三あり(可憐腰辨生)▲今度の增俸は按摺昇級とは違ひますか(小僧)▲私は高商出の青年ですが何處か家庭的に寄宿させて下さる家庭はございませんか學生の復習の御相手位は致しませう但し同居人のある御宅は御斷り致します(龍山生)▲或る役所に勤めて居る青年ですが午後六時から二時頃迄夜間のみ事務員か帳場に使つて下さい俸給は食べるだけで結構です(懇願生)▲男の手一つで生後一ケ月の男子を育てゝ居る人がある僕は同情に堪へぬ誰れか貰ひ受け希望の方は無いでせうか血統は正しく幼兒も至つて壯健であるから御望みの方は本欄迄御住所御知らせ乞ふ早速詳細御知らせ致します(秋水生)▲廿七歲の青年君相談致したき事あり本欄にて住所を知らせられたし(龍山里正)▲一撥假生に告ぐ君は生徒に探偵小說云々と非難の模樣なるが右は法律の先生が好意にて數學の先生旅行中代理して英國の教科書用として面白き話をわざ／＼課外として話されしなり君一人分らずさて先生を非難するは何たる事ぞ英語リーダーのストーリーは君には今無用たり(杉原生)▲近頃京城の電話が通じ惡くなつたることは何人も迷惑に感ずるところと思ひます一般人の交通機關に須らく嚴格を要する交換室と存ます尚總督府や京畿道廳の交換室に來たら須らく容易に迎びませぬ速かに改善方法を講ぜられたし(迷惑生)

將棊新手合 四

飛落 △京城 溝呂木光治(六段) ▲龍山 林 玉吉(二段)

於京城黃金町二丁目二二五 溝呂木事務所電話二〇二八

(圖は前號指了迄の局面) △持駒溝呂木氏 金

△七五角 ▲六三歩(ホ) △同歩ナル ▲同金 △九六歩 ▲七四金 △八六角 ▲七五歩(ヘ) △同歩 ▲八四金 △六七銀 ▲九四歩 △六四金 ▲六六歩(ト) △同銀 ▲六二飛 (以下次號)

溝呂木六段講評

▲(ホ)六三歩は惡し七四歩六六角七三桂と强く指す處なり

▲(ヘ)七五歩は惡し五二金と備へ固くする處なり

▲(ト)六六歩は無意味なり此處六二飛と廻りて決戰する處なり

處方箋實費調劑

○諸病院各大醫の御處方調劑致します○

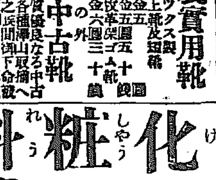
○藥價は實費を以て御求めに應じます○

○藥品其他家庭衛生用品何でも有ります○

京城本町四丁目櫻井町角電話三一二七番

毎月第一日曜休業

宮本千粒堂藥局



倉持特製實用靴

新品ボックス製編上靴及短靴 金五圓五十錢より

一、牛革製 金六圓五十錢

此の外 中古靴

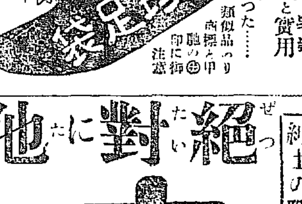
品質優良なる中古靴 有之候間御用命の程願上候

東京本海(?)町電車停留場前 倉持隆藏靴店 (振替東京二〇五三九番)

▲新織物 でコツトン

昨年本紙で紹介せる東京日本橋區小傳馬町松井商店考案の新織物で原料こしてを殊に加工したもので、體裁の優美な事は全く天下一品で、殆んど絹天鵞絨の如く手觸り足當りもよく上品な光澤を有し防寒保溫堅牢の點に於ては遙に毛織物以上である而して色も從來の白紺の外

▲萬人向 として約十五種程ある、子供は赤海老卵、婦人向きには桔梗、折風牛和色、遊び好みには花紺茶などと好みに應じ自由な色が求められる。殊に以來僅の間に流行の中心となり上中流から花柳界にまで持て囃され非常の人氣を呼んでゐる



登錄商標 日本一 別珍足袋

類似品あり商標と印に御注意

東京日本橋小傳馬町 松井商店

優美なる體裁と實用經濟の三拍子揃つた……

▲流行品 となつた

勿論流行ると云つても矢張體裁と實用經濟の三拍子が本位となつてゐるのである此意味からして生まれた別珍足袋なる新物が素晴らしい勢ひで流行出したのは

▲初秋の足袋季節

月毎に冷氣を增し、火桶が戀しくなつて來た、近來は足袋も純然たる一種の

◆襦子や瓦斯が廢つて漸く足袋や別珍の大流行

絶對に他に類の無い新發明化粧料

ホーカートッパー

天性の白さを現はす

淑女の薄化粧料 紳士の隱化粧料

發賣早々各地に好評を得目下賣行飛が如し

○天性の美しい白さを表はす

○洗へば美しい色艶を表はす

○ツキが善く誰人の肌にも合ふ

○秋の薄化粧料として好評あり

○紳士の隱化粧料として一等

○匂ひ豐かに艶麗さを增す

全國到る處小間物化粧品店洋品店に販賣す若し品切の節は振替又は三錢切手代用にて直接本舗宛御註文下さい

定價 一瓶 金三十錢 送料 内地六錢 滿鮮十四錢

ホーカー液本舗 東京神田和泉町 堀越嘉太郎商店

月やく 不順で御心配の人は返信料添へ申込まれよ 本院の專門學士苦心研究に成る安全確實なる流經妙藥教ふ 實驗者は大喜び！ 東京九段富士見町五の十六 東京婦科院

せきずい 病に手足引ツリ腰足不隨腰痛み筋痛みシビレ等に効能ある實驗藥あり類似藥に注意 郵券二錢封入申込次第詳報 脊髓病專門藥本家 元木本家

織元から直接廉賣 約半値段

直接大產地の織元から賣價は多數あれども一時の利に迷はず親切を本位として永久の信用を獲得せんが爲品質を精選し流行柄を低廉に提供す御註文は男女の別年齡好みを詳記して御註文あれ不適の品は返金す

外何品にても有之御注文に應ず

登錄商號 振替口座東京四三八壹〇番 栃木縣足利町停車場北入 青木商店

鶉卵配達開始 京城本町一丁目五〇 守山鶉飼育所 電話五四二番

最新刊

支那に遊びて 價貳圓參拾 送料八

財產奉還論 遠藤無水 二、五〇 一〇

日本音樂講話 淺尚聽三 三、五〇 一八

滿洲の金融機關と通貨 笠原博著 定價二〇〇 送料一〇八

是丈は心得をくべし 定價各九十五錢 送料各六錢 第七、八、九、十編出來

京城本町一丁目 大阪屋號

▲債券▼

關東都督府認可 公債債券月賦販賣 勸業債券高價買入 營業案內無代進呈

大連市西通二丁目二十二番地 南滿洲債券株式會社 電話長一五二四番 振替大連二三〇〇番

商業登記公告

一、株式會社朝鮮銀行(變更)

監事伊藤長次郎ハ任期滿了ノ處大正八年拾月貳拾九日重任シタリ

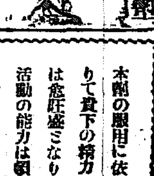
右大正八年拾壹月參日登記

京城地方法院仁川支廳

結核專門 古賀病院 九州線田代驛ヨリ四丁 鳥栖

淫羊藿エキス

人蔘ニ優ル强壯劑 通稱三枝九葉草エキス



主効 神經衰弱 貧血症 腎臟病 肝臟病 胃腸病 腺病 生殖器病 ヒステリー ヒポコンデリー 老衰 精力減退

適應 一、思考判斷及び記憶力を增し 二、讀書計算の疲勞を癒し 三、筋骨の疲勞を回復し 四、病後の衰弱に良く 五、血の道不眠症に良く 六、貧血虛弱なる婦女子に良く 七、手足冷ゆるに良し 八、陰萎遺精に良く

本劑の服用に依りて貴下の精力は愈旺盛となり活動の能力は更に增すべし

定價 二十五入 三十五入 四十五入 五十五入

全國一手販賣 東京小日本橋代理部 京城特約店 山北 天狗 文房(?)

整腸消化劑

(糖化菌乳酸菌含有製劑)

ビオフエルミン

乳酸菌の飲用が腸内の異常醱酵、腐敗を制止し、腸内に侵入し來れるコレラ菌、チフス菌等の諸病源菌を撲滅するの効あるは既に實驗的に證明せらるゝ所なりと雖も、「腸内に於て乳酸菌の作用を强烈ならしむる爲には腸内の糖分を化生すべき糖化菌を共に服用せざるべからず」とはメチニコフ博士及び門下生が論斷したる所なり。ビオフエルミンは即ちこの研究を基礎としてブルガリアン乳酸菌と二種の糖化菌とを加へたる本邦唯一の完全乳酸菌製劑なるを以て整腸、殺菌、消化の三大作用を併有す。故に左記疾患に處方して極めて有効に作用す。

腸疾患の全般、小兒夏季下痢、綠便、腸消化不良症、慢性腎臟炎、糖尿病等

錠末三十五入(金九拾錢)百五十五入(金參圓九拾錢)參百五入(金七圓貳拾錢)五拾錠入(金七拾五錢)百五拾錠入(金貳圓)

發賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衛商店 電話本局二八八六、三二四四、二〇一五、二一四八番 振替口座大阪二六二番

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginseng Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous bebility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria. Price ¥ 1.80

最近科學的研究を經て卓効を認められたる人參を特殊の操作に依り芳醇無比の葡萄酒に配合したる

○ミツワ人參葡萄酒

模範强壯料

風味高潔清和滋養豐富

元氣增進興奮作用優秀

定價 一瓶 金壹圓八拾錢 内地以外は運賃を加ふ

本品は科學的研究を經て、効力卓絶なる人參を周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして、其の色は紫紅にして鮮麗、其の香は芳芬にして澄爽、其の味は濃厚にして輕快、能く何人の嗜好にも順應し元氣を增進せしめ榮養の佳良並に身體の强壯を齎し、精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き心膽に新活力を賦與する上に於て他の物を以て代ふべからざる効果あり。本品は隨時隨處飲用すべく、一度沸騰したる水或は諸種の清涼飲料を以て希釋するも可なり

▼如斯人は强壯料○ミツワ人參葡萄酒を用ふべし▲

一元氣を盛んにしたい人 一精神を爽快にしたい人 一膽力を增したい人 一身體を强壯にしたい人 一元氣良く活動したい人 一延年長壽を願ふ人 一病苦や不快な感覺を忘れたい人 一精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人

一産後や病後の衰弱を速かに回復したい人 一食餌を進ませたい人 一消化を良くしたい人 一榮養を良くしたい人 一精力が減り元氣の無い人 一勉强又は勞働に疲れた人

一生來虛弱な人 一身體の疲れ易くて居る人 一貧血して居る人 一顏の色や艶の無い人 一手足や膝腰が冷て寢られぬ人 一些細の事を氣にかける人 一悲しい事も無いに泣きたい人 一悲觀して厭世的になる人

一精神が鬱々とする人 一時々氣を失ふ人 一肺結核や腹膜結核其の他結核性の病で發熱の永く續いて居る人 一神經衰弱に罹つて居る人 一陰萎遺精など生殖器神經衰弱に惱んで居る人

東京市日本橋區通四丁目 丸見屋商店 電話長浪花三〇四〇・三〇五〇・四四九〇・四八〇〇番